

宮古西原方言の語彙(3)

NAKAMA, Mitsunari / 名嘉真, 三成

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

琉球の方言

(巻 / Volume)

15

(開始ページ / Start Page)

3

(終了ページ / End Page)

50

(発行年 / Year)

1991-03-25

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012628>

宮古西原方言の語彙(Ⅲ)

A Study of Vocabulary on
Nishihara Dialect in
Miyako Is. (Ⅲ)

名 嘉 真 三 成

し

- しー ji: [名] 四。三の次の数。いち(一) にー(二) さん(三) しー(四) ごと(五) ろく(六) しち(七) はち(八) くー(九) じゅー(十)と数える時、用いる。
- しー ji: [名] 精。精霊。自然の種々の物に宿ると考えられている神霊。㊦～ぬ いでい(精霊が現れる)。
- しー ji: [名] 瀬。水が浅くて、歩いて渡れるような所。㊦～ゆ ばたい(瀬を渡る)。
- しー ji: [感] しっ。寄って来る動物を追い払う時に発する語。
- じー dʒi: [名] 痔。肛門やその付近がただれたりして痛む病気の事。㊦～ん かかい(痔にかかる)。
- しーぐ ji:gu [名] 小刀。ちょっとした細工物に使う小さな刃物。くがたなとも言う。㊦～ひー すい(小刀で切る)。
- しーさー ji:sa: [名] ①獅子。②屋根の上に魔よけ用に置いてある獅子像。
- しーしー ji:ʃi: (擬声) しっしっ。動物などを追い払う声。
- じーじー dʒi:dʒi: (擬声) じいじい。にいにい蟬のなき声。㊦～ なふう(じいじいなく)。
- じーっていー dʒitt'i: [副] じっと。同じ姿勢で見つめたりがまんする状態。㊦～ みい(じっと見る)。
- しーてい ʃiti [副] 強いて。無理に。㊦あいぬ くとぅーばー ～あしいな(そんな事は強いて為るな)。
- しーとぅー ʃitu [名] 生徒。学校に籍を置き、授業を受ける人。～かんにがい(生徒のための祈願)。～いでいかんにがい(生徒になるための祈願)。㊦～ん ない(生徒になる)。
- しーとぅーいでいかんにがい ʃituidikannigai [名] 学校に上がる時行なう祈願。普通三月に行なう。

- しーとうかんがいにがい *ʃi:tukannigai* [名] 生徒の学業が向上するために行なう祈願。新学期の始めに行なう。
- しーにん *ʃi:nig* [名] 青年。中学、高校を卒業した二十代までの人。～かい（青年会）。
- しーむぬ *ʃi:munu* [名] 吸物。塩・しょう油で味をつけた飲み物。
- しーる *ʃi:ru* [名] 水肥。人糞、尿など液体の肥料。
- じーる *dʒi:ru* [名] 地。いろり。防寒や煮炊きのために火をともし所。
- しーるたぐ *ʃi:rutagu* [名] 水肥桶。人糞、尿など液体の肥料を運ぶ桶。
- しか *ʃika* [動] 鹿。シカ科の獣の総称。
- しかい *ʃikai* [名] 世界。世の中。世間。
- しかき *ʃikaki* [名] 仕掛け。工夫された仕組。
- しかきい *ʃikakii* [動] 仕掛ける。行動に出る。装置する。㊦ばなう～（罫を仕掛ける）。
- しかく *ʃikaku* [名] 四角。四角形。
- しかくみはな *ʃikakumihana* [名] 四角い顔。
- しがちい *ʃigatsi* [名] 四月。いちがちい（一月） にかちい（二月） さんがちい（三月）の次の月。ぐがちい（五月） るくがちい（六月） しちがちい（七月） はちがちい（八月） くがちい（九月） じゅーがちい（十月） じゅーいちがちい（十一月） じゅーにがちい（十二月）と教える。
- じかん *dʒikag* [名] 時間。ある時刻から他の時刻までの間。㊦～ぬ ながりい（時間が流れる）。
- しき *ʃiki* [名] 式。一定の仕方によって行なう儀礼的行事。㊦しきゅー あぎい（式を挙げる）
- じき *dʒiki* [名] 時期。とき。おり。㊦んなまー いずぬ～（今は魚の時期だ）。
- しきたん *ʃikitag* [名] 石炭。植物が地中で炭化したもの。
- しきたんゆー *ʃikitagju:* [名] 石油。地中にある燃える液体。㊦～ゆ むーしい（石油を燃やす）。
- しきにん *ʃikiniŋ* [名] 責任。やらねばならない勤。㊦～ぬ はたしい（責任をはたす）。
- しきん *ʃikiŋ* [名] 試験。物の知識や能力をためること。㊦～ぬ うきい（試験を受ける）。
- しきん *ʃikiŋ* [名] (新) 世間。世の中。一般社会。～ぬひとつんみ（世間の人達）。
- しきんなり *ʃikinnari* [名] 世間慣れ。世の中に失敗しないようになること。ゆーなりとも言う。
- しきんばなしい *ʃikimbanasi* [名] 世間話。世の中に関する話。㊦しきんばなっす あしい（世間話を為る）。
- しじゅーくにち *ʃidʒu:kunitʃi* [名] 四十九日。死者を七日ごとに弔う法事をなんかと言

い、その第七回目の最後の法事のこと。

したい jitai (感) したり。いい気味だ。よくやったら相手をほめる時、また意に反して失敗した時などに発する語。

しだい jidai [名] 次第。～するにつれて。動詞の連用形について形式名詞の役目をする。㊦かちい～ いたしい (書き次第出す)。

したうき jitauki [名] (新) 下請。請け負った仕事をさらに他人が請け負うこと。

しち jitji [名] (新) 質。約束を行なう保証として預けておく品物。㊦～んかい いりい (質に入れる)。

しち jitji [名] 七。るく (六) の次の数。

しちがちい jitjigatsi [名] 七月。1年の第七番目の月。㊦しちがっちゃ あちいかん (七月は暑い)。

しちいきい jitsikii [動] 躡ける。殴る。㊦っふあう ～ (子供を躡ける)。

しちながり jitjinagari [名] 質流れ。しちながりぬしいなむぬ (質流れの品物)。

しちなんか jitjinanka [名] 七七日。死んでから七週目。四十九日目に行なう法事。

しちや jitjija [名] 質屋。質物を預って金を貸すことを目的とする店。

しっぱい jippai [名] (新) 失敗。しくじり。やりそこない。㊦～ゆ あしい (失敗する)。

しっぶく jippuku [名] (新) 切腹。自分で腹を切って死ぬこと。

しな jina (貝) 貝。貝殻をもつ軟体動物。

しな jina (地) 支那。中国。㊦～んかい いふう (中国へ行く)。

しばい jibai [名] 芝居。演劇の総称。㊦～ゆ みい (芝居を見る)。

しばかん jibakag [形] 狭い。空間の広がりが少ない。狭い考え、狭い度量などの用法はない。㊦みなかー ～ (庭は狭い)。

しばみい jibamii [動] 狭める。空間の広がりを少くする。㊦やーとう やーぬ あいだう ～ (家と家の間を狭める)。

しぶ jibu [名] (新) 支部。集落の区画。きたしぶ (北支部)、ひがししぶ (東支部)、みなみしぶ (南支部) にっしぶ (西支部) の四つがある。

しま jima [名] 縞。布地などの縦横に出た模様。㊦ちいんぬ ～ぬ かぎかん (着物の縞が美しい)。

しまい jimai [動] 閉まる。閉じた状態になる。㊦やどうぬ ～ (戸が閉まる)。

しまい jimai (感) ああ、しまった。失敗して残念がる時発する語。㊦～ ごーかくふん (しまった、合格しない)。

しまながし jimanagaji [名] (新) 島流し。罪人などを遠方の島に送る刑罰。

じまん dzimag [名] 自慢。自分に関係ある人や事柄を他人に誇る。㊦ならがっ

- ふあう ~ぬ あしい (自分の子供を自慢する)。
- しみ jimi [名] (新) 染み。衣類や皮膚などのしみてよごれたあと。㊦ちいんん ~ぬ
いでいい (着物に染みが出る)。
- しみい jimii [動] 攻める。攻撃する。㊦ていきゅー ~ (敵を攻める)。
- しみい jimii [動] 閉める。締める。ゆるみを無くすようにする。㊦ぬどうー ~ (の
どを締める)。
- しみい jimii [動] (新) 凍みる。㊦は一ぬ ~ (歯が凍みる)。
- しみくるしい jimikurusī [動] 締め殺す。ひどく殴りつける。
- しみくん jimikug [動] (新) 染み込む。ある要素が他の組織に入るとれなくなる。㊦
みじいぬ じいーんかい ~ (水が地面に染み込む)。
- しみーじい jimidzi [名] シミーズ。女性の下着。㊦しみーっじゅ ちいい (シミーズ
を着る)。
- しみちいきい jimitsikii [動] 締めつける。㊦ぬどうー ~ (のどを締めつける)。
- しむ simu [名] (新) 霜。地面にできる細かな氷。
- しらじらていー siradzirati: [副] しらじらと。㊦~ ゆーぬ あきい (しらじらと夜が
明ける)。
- しらび sirabi [名] 調べ。調査。検査。㊦きーひちいぬ ~ぬ あい (警察の調べがあ
る)。
- しらびい sirabii [動] 調べる。調査する。検査する。分からない事や不確かな事を他人
に聞いたりして確かめる。㊦どうーゆ ~ (体を検査する)。
- しらびむぬ sirabimunu [名] 調べ物。調査する事項。㊦しらびむぬー しらびい (調べ
物を調べる)。
- しる siru [名] 体から出る液体のもの。みんぬ~ (耳の汁、耳垂れ) みーぬ~ (目の
汁)。お汁はしいる、味噌汁はんっしいーと言う。
- しる siru [名] (新) 城。敵を防ぐために石などで築いた建物。普通ぐしいくと言う。
㊦しるー しみい (城を攻める)。
- しるがに sirugani [名] 銀。しろがね。㊦~ぬ ふうるーとう (銀のフルート)。
- しわ siwa [名] (新) 皺。紙や皮膚などの表面にできる不規則な細かい模様。㊦~ぬ
でいきい (皺ができる)。
- しわざ siwadza [名] (新) 仕業。した事。㊦かいが ~ (彼の仕業だ)。
- じわじわていー dziwadziwati: [副] (新) じわじわと。一点に向って徐々に変化が進ん
で行く様子。㊦っすいぬ ~ ちいふう (葉がじわじわと効く)。
- しん sij [名] 千。百の十倍の数。
- しん sij [名] 線。糸のように細長くついた模様。㊦~ぬ ひちい (線を引く)。

- しん jig [名] 芯。①物の中央の大切な部分。②灯芯。㊦とういぬ ～ (ランプの芯)。
- ーしん ーjig [接尾] (新) 銭。銭を数える時の単位。いっしん (一銭) にしん (二銭) さんしん (三銭) ゆんしん (四銭) ぐしん (五銭) るくしん (六銭) ななしん (七銭) はっしん (八銭) きゅうしん (九銭) じっしん (十銭) と数える。なんしん (何銭)。
- しんけい jigkei [名] (新) 神経。体の痛みや脳の命令を伝えたりするもの。㊦はいぬ ～ゆ とうい (歯の神経を取る)。
- しんしー jinji: [名] 先生。教員や師匠など物事を指導する人を指す。医師や議員には用いない。㊦～から しいぬ ならう (先生から勉強を習う)。
- しんじい jindzii [動] 信じる。疑わずに真実と思う。㊦かんぬ ～ (神を信じる)。
- しんじい jindzii [動] 煎じる。茶や薬草などを煮て成分を出す。㊦ちゃーゆ ～ (茶を煎じる)。
- しんじかしい jindzikasi [名] 煎じたかす。㊦しんじかつす しいていい (煎じたかすを捨てる)。
- しんじっすい jindzissui [名] 煎じ薬。薬草を煎じたもの。㊦～ゆ ぬん (煎じ薬を飲む)。
- しんじむぬ jindzimunu [名] 煎じたもの。茶や薬草などを煮て成分を出したもの。
- しんだん jindag (植) 栴檀。庭に植える落葉高木。しんだんぎーとも言う。
- しんだんぎー jindaggi: (植) 栴檀。
- しんばん jimbag [名] 審判。競技の優劣を決めること。またその人。㊦っぶあー ～ぬ あっす (お前は審判をやれ)。
- しんぶん jimbug [名] (新) 新聞。新しい出来事を速く知らせる定期刊行物。㊦～ぬ いたしい (新聞を刊行する)。
- じんぶん dzimbug [名] 知恵。分別。才能。㊦～ぬ あい (分別がある)。
- しんぼー jimbo: [名] 心棒。車輪の軸となる木。
- しいー si: [名] 酢。少量の酢酸を含む液体の調味料。㊦～ゆ なましいんかい かきい (酢を刺身にかける)。
- しいー si: [名] 巢。鳥や虫などがすむために作った所。とういぬ～ (鳥の巢) くうぬ～ (蜘蛛の巢) あかいぬ～ (蟻の巢) はちいぬ～ (蜂の巢) やままゆぬ～ (山猫の巢)。
- じいー dzi: [名] 字。文字。㊦～ゆ かふう (字を書く)。
- じいー dzi: [名] 地。土地。地面。陸地。㊦～ゆ かでいい (地を耕やす)。
- しいーう si:u (植) 冬瓜。畑でできる一年草のつる草。夏に黄色の花が咲き、実が成る。食用。

- じいーかちい dzī:katsī [名] 字書き。字を書くこと。㊦じいーかっちゃ うむっしかん
(字を書くことは面白い)。
- じいーかちや dzī:katja [名] 字のきれいな者。㊦かりゃー ~ (彼は字のきれいな者だ)。
- しいーかん sī:kag [形] 酸っぱい。梅干や夏ミカンの味のする状態。㊦くぬ ふう
にゅーや ~ (このミカンは酸っぱい)。
- しいーしい sī:sī [名] 肉。動物の骨を包んでいる柔らかな物質。食用に供される。㊦
しいーっす ふあう (肉を食べる)。
- じいーじいー dzī:dzi: (擬態) ずきんずきん。頭や傷などが脈を打うように痛む様子。
㊦かなまいぬ ~ やん (頭がずきんずきん痛む)。
- じいーだい dzī:dai [名] 地代。借地料。
- しいーっちい sī:ttfii [動] 擦り切れる。摩擦によって切れる。
- しいーちいい sī:tsīi [動] 切る。包丁などの刀物で擦るようにして切る。㊦いずぬ ば
たう ~ (魚の腹を切る)。
- じいーぱ dzī:pa [名] かんざし。女性が髪にさす装飾品。㊦~う さしい (かんざしを
さす)。
- じいーまい dzī:mai [名] 地米。その土地でできる米。
- じいーみちい dzī:mitsī [動] 針が刺すように痛む。
- じいーい dzīi [名] (新) 髓。骨や茎の中心にある部分。きーぬ~ (木の髓) ふにぬ~
(骨の髓)。
- しいーい sīi [動] 知る。分かる。ものの内容や意義が理解できる。㊦にんぎんぬ いっ
でいかたう ~ (人間の生き方を知る)。
- しいうかん sīukag [形] 渋い。渋柿のような舌をしびれさせる味である。
- じいーが dzīga [名] (新) 図画。絵図。描いたもの。㊦~う かふう (図画を描く)。
- しいーがい sīgai [動] すぎる。頼るため体の一部をつかまえて離さないようにする。
㊦っふあぬ うやんかい ~ (子供が親にすぎる)。
- しいーかいい sīkaii [動] 好かれる。好まれる。㊦しんしーから ~ (先生から好かれる)。
- しいーかき sīkaki [名] 為かけ。動作の始まりのこと。
- しいーかきい sīkakii [動] 為かける。動作を始める。㊦しいーかまう ~ (仕事を始める)。
- しいーかしい sīkasī [動] あやしなだめたりそやしたりする。まただます。あざむく。
㊦っふあう ~ (子供をあやす)。
- しいーかしい sīkasī [動] 透かす。何かの間を通して向こう側の物を見る。㊦がらっす
しいーかひー みい (ガラスを透かして見る)。
- しいーがた sīgata [名] 姿。体や物の形。㊦ひとうぬ ~う みい (人の姿を見る)。

- しいかま *sikama* [名] 仕事。頭や体を駆使して働くこと。㊦～う あしい（仕事を
する）。
- しいかまじいん *sikamadziŋ* [名] 仕事着。仕事をする時着る衣服。
- しいき *siki* [名] 鋤。土を起こすもの。
- しいき *siki* [名] 好き。相手に心が引かれる状態。㊦ひと～ ーん ない（人を好き
になる）。
- しいぎ *sigi* (植) 杉。葉が小さく針の形をした常緑高木。またはその材木。しいぎぎー
とも言う。
- しいきい *sikii* [動] 神仏に供える。㊦かんかい さきゅー ～（神様に酒を供える）。
- しいぎい *sigii* [動] 過ぎる。移動するものがある地点や場所から他の地点や場所へ移っ
て行く。㊦ばしいぬ しいぎー はい（バスが過ぎて行く）。
- しいぎい *sigii* [動] すげる。本体にあるものをはめ込んだりくっつけたりする。㊦ぶー
ゆ あっちゃんかい ～（紐を下駄にすげる）。
- しいきうくしい *sikiukusi* [動] 鋤き起こす。鋤きですいて土を起こす。㊦しいきひー
んたう ～（鋤で土をすき起こす）。
- しいきかいしい *sikikaisi* [動] 鋤き返す。鋤で土を掘り返す。
- しいぎぎー *sigigi:* (植) 杉。またはその材木。しいぎとも言う。
- しいきやーしい *sikja:si* [動] 散らかす。物が整然としないで広げたままにしておく。
㊦まいゆ ～（米を散らかす）。
- しいきやーりい *sikjarii* [動] 散らかる。物が整然とせず、広がった状態になる。㊦ふ
んぬ ～（本が散らかる）。
- しいぐ *sigu* [副] 直ぐ。早速。ある行動を起こしてから余り時間がたっていない様子。
㊦っていー ～ はい（来て直ぐ帰る）。
- しいくい *sikui* [動] 準備する。支度する。会などのために食べ物を用意する。㊦
じゅーじゆくいぬ むぬー ～（十時休憩の食事を準備する）。
- しいくう *sikuu* [動] 掬う。水面に軽く触れるようにして表面の一部を取る。㊦ちゃば
んから ちゃーかつす ～（湯呑みからお茶かすを掬う）。
- しいぐとう *sigutu* [名] 仕事。しいかまとも言う。㊦しいぐとうー あしい（仕事をす
る）。
- しいぐとうじいん *sigutudziŋ* [名] 仕事着。仕事をする時着る衣服。しいかまじいんと
も言う。
- しいぐまい *sigumai* [動] 巣ごもる。鳥などが巣の中に入った状態にいる。
- しいくん *sikuŋ* [名] 仕組。計画。考案。㊦かいが しいくんー かかい（彼の計画に
引かかる）。

- しいくん sīkuj [動] 仕組む。計画する。考案する。目的に合うように巧みに趣向を考える。
- しいくん sīkuj [動] 竦む。緊張のあまり体が縮んで動かなくなる。㊦うとうるっさーひー ~ (恐ろしさのため竦む)。
- しいしい sīsī [名] 媒。煙から出る黒色の粉末。㊦しいっす はらう (媒を払う)。
- しいじい sīdži [名] 鈴。金属製の球に玉を入れ鳴るようにしたもの。㊦しいっじゅ ならしい (鈴を鳴らす)。
- しいじい sīdži① [名] 粒。丸くて小さなもの。② [接尾] 粒を数える助数詞。ひとつしいじい (一粒) ふうたしいじい (二粒) みしいじい (三粒) ゆしいじい (四粒) いちしいじい (五粒)。
- しいじい sīdži① [名] 筋。血統。血縁。② [接尾] 繊維などの細かいものを数える助数詞。ひとつしいじい (一筋) ふうたしいじい (二筋) みしいじい (三筋)。
- しいしいじい sīsīdži [動] 濯ぐ。
- しいしいみい sīsīmī [動] 勧める。ある事をした方が良いと相手に言う。㊦くぬっすいゆ ぬんよーん ~ (この薬を飲むように勧める)。
- しいじいみい sīdzīmī [動] 片づける。その物を納める必要のある所に納める。㊦さうとうだなんかい ~ (皿を戸棚に納める)。
- しいじいみい sīdzīmī [動] 沈める。ある物を水面より下の方へ移動させる。㊦ふうにゆー ~ (舟を沈める)。
- しいじいり sīdzīri [名] (新) 硯。墨を水でするためのもの。㊦しいじいりひー しいみゆー しいい (硯で墨をする)。
- しいじいりばく sīdzīribaku [名] 硯箱。硯を入れ保管する箱。㊦しいじいりゆー ~んかい いらい (硯を硯箱に入れる)。
- しいしいん sīsīŋ [動] 進む。前方へ移動する。㊦じかんぬ ~ (時間が進む)。
- しいじいん sīdžiŋ [動] 沈む。水面から下の方へ動く。㊦ていだぬ ~ (太陽が沈む)。
- しいす sīsu [名] 裾。衣服の下の方。ちいんぬ ~ (着物の裾)。
- しいた sīta [名] 舌。動物の口の中にあり、柔らかく自由に動き味や発音を行なう器官。ったとも言う。
- しいた sīta [名] 下。位置や程度や数量などが少ないこと。㊦かいが たきゃー ~かた (彼の背丈は下の方だ)。しいたーらとも言う。
- しいたい sītai [動] 廃れる。行事などが盛んでなくなる。
- しいたぐる sītagukuru [名] 下心。
- しいだしい sīdasī [動] 瞬化させる。
- しいだしいかでい sīdasīkadi [名] 涼しい風。

- しいたら sita:ra [名] 下。位置、程度、数量などが少ないこと。
- しいだいでん sidaig [副] 次第に。状態が少しずつ推移していく様子。㊦いんぬ ～ふうかふう ない（海が次第に深くなる）。
- しいだしいかん sidasikaj [形] 涼しい。暑さが感じられず、快適な気温の状態。㊦ゆさらびゃー ～（夕方は涼しい）。
- しいたしいば sitasiba [名] 下唇。㊦～う かん（下唇を噛む）。
- しいたたい sitatai [動] 滴る。液体がしずくになって下に落ちる。㊦みじいぬ ～（水が滴る）。
- しいたたか sitataka [副] したたか。多く。量や数などが多い様子。㊦さきゅー ～ぬん（酒を多く飲む）。
- しいたていい sitatii [動]（新）仕立てる。特にある目的のために準備する。㊦ふうくー ～（服を仕立てる）。
- しいたにー sitani: [名] 下荷。馬車などの下に積む荷物。㊦～から ばしゃんかいちいん（下荷から馬車に荷む）。
- しいたぬい sitanui [名] 下塗り。下地を塗ること。うわぬいの対。
- しいたばー sitaba: [名] 下歯。下顎の方に生えた歯。
- しいだまぎー sidamagi: (植) ジュズダマ。
- しいたやく sitajaku [名] 下役。下級の役人。部下の役人。
- しいたやくにん sitajakunig [名] 下役人。
- しいたゆだ sitajuda [名] 下枝。地面に近い下の方に出ている枝。
- しいたらしい sitarasī [動] 廃らす。事が盛んでないようにする。㊦きじゃいゆ ～（行事を廃らす）。
- しいたらしい sitarasī [動] 滴らせる。しずくなどがたれるようにする。㊦みっじゅ ～（水を滴らせる）。
- しいだり sidari [名] すだれ。細い竹などを並べて糸で編んで部屋のしきり日よけに使うもの。㊦しいだりゅー あん（すだれを編む）。
- しいたりい sitarii [動] 廃れる。行事などがおとろえる。㊦りゅーこーぬ ～（流行が廃れる）。
- しいたん sitag [動] したむ。液体を残りなくたらす。㊦しいばいゆ ～（小便をしたむ）。
- しいたんちい sitantsī [名] 下道。下方の道。㊦しいたんちゅー とぅーい（下道を通る）。
- しいちい sītsī [名] 節。祝日や行事などのこと。しいちいぬぶどうい（祝事の踊り）。
- しいちい sītsī [動] 敷く。平らに広げる。㊦ふうとうんぬ ～（布団を敷く）。

- しいちい sītsi [動] 鋤く。すきで土を掘り返す。㊤じいーゆ ～ (土地を鋤く)。
- しいちい sītsi [動] 好く。物事や人に心を寄せる。
- しいちいき sītsiki [名] 躰け。マナーを正しく教え込むこと。またそれによって身についたマナー。
- しいちいきい sītsikii [動] 躰ける。マナーを教える。㊤かぎーちゃ いっているていー ～ (正しく生きると躰ける)。
- しいちいび sītsibi [名] 節日。節句。祝事や行事を行なう日。
- しいていい sītii [動] 捨てる。なくす。こぼす。㊤みっじゅ ～ (水をこぼす)。でいんぬ ～ (お金をなくす)。
- しいでいい sīdii [動] 孵化する。卵がかえる。さなぎから成虫になる。㊤さなじいぬ ～ (さなぎが孵化する)。
- しいでいがほー sīdigaho: [名] 有難う。㊤きゅーや っていー ふいー ～ (今日は来てくれて有難う)。
- しいでいがら sīdigara [名] 孵化したぬけがら。さなぎが成虫になる時に抜け出した後の外皮。
- しいていむぬ sītimumu [名] 捨て物。廃棄物。落し物。
- しいとううや sītuuja [名] しゅうと。夫または妻の父母。しいとうまとも言う。
- しいとうま sītuma [名] しゅうと。夫や妻の父母。
- しいとうむてい sītumuti [名] 朝。夜が明けてからしばらくの時。㊤～ぬ しいかまうあしい (朝の仕事をする)。
- しいとうむていむぬ sītumutimumu [名] 朝ご飯。朝とる食事。㊤しいとうむていむぬーにい (朝ご飯を煮る)。
- しいな sina① [名] 品。品物。② [接尾] 品物や料理などの品数を数える。助数詞。ひとう～ (一品) ふうた～ (二品) み～ (三品) ゆ～ (四品) いちい～ (五品)。しいなむぬとも言う。
- しいなーしい sinasi [動] 黙る。沈黙する。言うのをやめる。何も言わずにいる。㊤しいなーひー うい (黙っている)。
- しいなーしい sinasi [動] 合わせる。二つ以上のものを組み合わせて一つのものにする。㊤くるまとう じくー ～ (車と軸を合わせる)。
- しいなう sīnau [動] しっくりと合う。二つ以上のものが組み合わさってしっくりとなる。
- しいなしい sīnasi [動] 死なす。殺す。死んだ状態にする。殴る。㊤しいなひー とうらし (殴ってやれ)。
- しいなむぬ sīnamunu [名] 品物。しいなとも言う。

- しいなやま *sinajama* (地) 砂山。平良市街から北西へ約三キロ行った所。砂浜が美しい。
- じいなん *dzinag* [名] 次男。二番目の息子。㊤～ぬ なしい (次男を生む)。
- じいなんさんなん *dzinansannag* [連語] 二男三男。二男と三男のこと。
- しいぬい *sinui* (植) もずく。褐藻類モズク科の海藻。食用。
- じいぬしい *dzinusi* [名] 地主。土地の所有者。
- しいばい *sibai* [名] 小便。尿道から体外に出される黄色の液体。㊤～ゆ しいい (小便をする)。ゆしいばいとも言う。
- しいばいかじゃ *sibaikadza* [名] 小便のにおい。
- しいばいじいちいん *sibaidzitsig* [名] 小便袋。膀胱。体内で小便のたまる所。
- しいばいっさかん *sibaissakan* [形] 小便くさい。
- しいばいふうかしゃ *sibaifukaja* [名] 小便をもらす人。
- しいばく *sibaku* [名] 巣箱。鳥が巣を作れるようにこしらえた箱。㊤～んかい とういぬ ふうう (巣箱に鳥が来る)。
- しいばびー *sibabi* [名] 口笛。口を丸くすぼめて息を吹き音を出すこと。またその音。㊤～ゆ ふうちい (口笛を吹く)。
- しいびい *sibii* [動] 滑べる。表面と接触しつつ、抵抗なく速く移動する。㊤なびー どうるんちいん ～ (滑っこい泥道で滑べる)。
- しいびにかん *sipinikan* [形] 大根などが萎えて歯ざわりがゴムのようになった状態。しいびにうふに (萎えた大根)。
- しいぶい *sibui* [動] しぼる。強くねじったりして含まれた水分を出す。㊤んみちいんぬ ～ (濡れた着物をしぼる)。
- しいぶいがら *sibuigara* [名] しぼり殻。しぼった後残こる殻。ぶーじいぬ ～ (砂糖黍のしぼり殻)。
- しいぶしいぶ *sipusipu* (擬態) じとじと。じめじめ。着物などが濡れそぼつ様。
- しいぶたい *siputai* [動] 濡れそぼつ。じめじめする。㊤ちいんぬ ～ (着物が濡れそぼつ)。
- しいぶたいあみ *siputaiami* [名] だらだらと降り続く雨。じめじめした湿っぽい雨。
- しいぶたいかん *siputaikan* [形] 濡れそぼった状態。じめじめした状態。湿っぽい。㊤ながあみゃー ～ (長雨は湿っぽい)。
- しいぶたいじいん *siputaidzig* [名] 濡れそぼった衣服。湿った衣服。㊤～ぬ んぎ (濡れそぼった衣服を脱げ)。
- しいぶたら *siputara* [名] 不潔な者。風呂に入らず、体をきれいにしない者。
- じいぶる *dziburu* [名] つむじ。頭髮でうずを巻いたような状態になった所。たーちい ～ (二つつむじ) の人は気性の荒いと言われている。

- じいぶん dzībug [名] 時分。日刻。頃。あしぬ〜（朝食の時刻）しいかま〜（仕事の時刻）にゅ〜（就寝の時刻）。
- しいま sima [名] 島。島や集落のこと。㊦〜ぬ みーらしい（島が見える）。っぶあが
しいまー んじゃ（君の郷里はどこだ）。
- しいま sima [名] 相撲。土俵の中で二人が力やわざによって勝負を決める競技。うちい
な〜じいま（沖縄相撲） みゃーくじいま（宮古相撲） ㊦〜う とうい（相撲をと
る）。
- しいまい simai [動] 縛る。結ぶ。束ねる。紐などで一まとめにしたり、紐と紐とを連
結したりする。㊦んなひー たむぬー 〜（綱で薪を束ねる）。いとうと いとうー
〜（糸と糸を結ぶ）。
- しいまいかた simaikata [名] 結び方。縛り方。束ね方。㊦ねくたいぬ 〜う ならー
しい（ネクタイの結び方を教える）。
- しいまぐに simaguni [名] 島国。四面が海に囲まれた国。㊦にほんな 〜（日本は島国
だ）。
- しいまぐにくんじょー simagunikundzō: [名] (新) 島国根性。よそ者を受けつけず、視
野が狭く他人の足を引っぱりたがる島質。
- しいましい simasi [動] 澄ます。濁り、曇り、雑音などを除き、すっきりした状態にす
る。㊦みっじゅ 〜（水を澄ます）。
- しいまじいー simadzī: (地) 島尻。宮古本島の北部に位置する集落。
- しいまとうりゃ simaturja [名] 相撲取り。相撲の上手な者。㊦かいが いあー 〜
（彼のお父さんは相撲取りだ）。
- しいまなか simanaka [名] 島中。島の中心部。
- しいまぬむぬ simanumunu [連語] 島の物。島内産。在来種。
- しいまばき simabaki [名] 島分け。分村。昔、人口が多くなるとよその土地に移住させ
ることがあった。しいまばきぬあーぐ（島分けの歌）。
- しいまびとう simabitu [名] 島の人。同郷の者。ひとつじいまびとう（異郷の者）の対。
- しいまふうさりゃ simafusarja [名] 集落を守る祭り。集落の入り口に豚の骨をつけた
縄を張る。
- しいまふうちい simafutsī [名] 島口。郷里の言葉。しいまうちいとも言う。㊦しいま
ふうちゅ あい（郷里の言葉を話す）。
- しいままーい simama:i [名] 島めぐり。島をふちらこちら見てまわること。
- じいまみ dzīmami (植) 落花生。地面の中で熟する豆。
- しいまみぐい simamigui [名] 島めぐり。
- しいみ sīmi [名] 墨。土質の媒をにかわ汁で溶かしたもの。

- しいみ *sīmi* [名] 炭。木を燃やして残ったもの。たんとも言う。
- しいみい *sīmii* [動] (手などを) 洗う。手足や顔などを洗う。㊦ていーゆ ~ (手を洗う)。
- しいみい *sīmii* [助動] させる。使役の助動詞。動詞の未然形につく。㊦うっとうん
じいーゆ かか~ (弟に字を書かせる)。
- じいみぎかん *dzīmigikaŋ* [形] (容姿などが) 立派である。恰好いい。㊦かぬ にしゃ
いや ~ (あの若者は恰好いい)。
- じいみじい *dzīmidzī* [名] みみず。地中にすむ細長い下等動物。釣りのえさにする。
- じいみちいぶ *sīmitsibu* [名] 墨壺。大工道具の一つで墨を入れていて線を引く糸をひた
すのに用いる。
- しいみなー *sīmina:* [名] 墨繩。墨糸。
- じいみん *dzīmiŋ* [名] 傷跡。こめかみ辺りにできた円状の傷跡。頭にできる傷跡にはふ
ていと言う。
- しいむ *sīmu* [名] 下。下の方。
- しいむじゃ *sīmudza* [名] 下座。
- しいむじい *sīmudzī* (地) 下地。宮古本島の南部に位置する所。下地町。
- しいむちいちい *sīmutsīsī* [名] 霜月。十一月のこと。
- じいりうてい *dzīriutii* [動] ずり落ちる。ズボンなどがずれて下に下がる。
- しいりきぎゃーしい *sīrikigja:sī* [動] 播鉢などですってかき回す。
- しいりきじい *sīrikidzī* [動] 擦り傷。何かにこすって出来たちょっとした傷。㊦しいり
きっじゅ ちゅふうう (擦り傷を作る)。
- しいりくん *sīrikuŋ* [動] 擦り込む。こすって中へ入れる。㊦ぬいぐすいゆ ~ (塗り
薬を擦り込む)。
- しいる *sīru* [名] 汁。物体の中にある液体や食品用の液体。㊦ふうにゅーぬ~ (ミカン
の汁)。しいるー ぬん (おつゆを飲む)。
- しいるぎな *sīrugina* [名] 汁杓子。おたま。味噌汁などをすくうまるい杓子。ご飯を入
れるのに用いる杓子は、みしいぎなと言う。
- しいるしい *sīrusī* [名] 印。他の物と区別するためにつけるもの。㊦しいるっす ちい
きい (印をつける)。
- しいるなび *sīrunabi* [名] 汁鍋。おつゆをつくるための器具。
- しいるまかい *sīrumakai* [名] 汁を入れる椀。おつゆなどを入れるための用器。
- しいん *sīŋ* [名] 学問。㊦~ぬ ならう (学問を習う)。
- しいん *sīŋ* [動] 死ぬ。体のすべての機能が働かなくなる。㊦にんぎんな んーな ~
どう しい (人間は皆死ぬ)。

- しいん *siŋ* [動] 澄む。濁りや曇りがなくなって清くなる。㊦みじいぬ ～ (水が澄む)。
- ーしいん *-siŋ* [接尾] 寸。長さの単位。いっしいん (一寸) にしいん (二寸) さ
んじいん (三寸) よんしいん (四寸) ごしいん (五寸) ろくしいん (六寸) な
なしいん (七寸) はっしいん (八寸) きゅーしいん (九寸) じっしいん (十寸)。
- しいんがた *siŋgata* [名] 瀕死。今にも死にそうなこと。
- しいんかん *siŋkag* [形] しみて痛い。㊦きじいぬ ～ (傷がしみて痛い)。
- しいんっしゃ *siŋŋja* [名] 学問の出来る人。学問のある人。勉強の出来る人。㊦しん
しーや ～ (先生は学問のある人だ)。
- しいんな *sinna* (植) ネギ。においの強い細長い葉の野菜。しいんまとも言う。
- しいんならい *sinnarai* [名] 学問。学校などで先生から段階的に知識を習得すること。
- しいんばきやーり *siŋbakjari* [名] 死に別れ。相手の人が死に永久に会えなくなること。
- しいんばきやーりい *siŋbakjarii* [動] 死に別れる。相手が死んで永久に会えなくなる。
㊦うやとう ～ (親と死に別れる)。
- しいんばたら *siŋbatara* [名] 死にぞこない。死にそこなうこと。
- しいんはてい *siŋhatii* [動] 死に果てる。全部のものが死ぬ。また死に絶える。
- しいんびとう *siŋbitu* [名] 死人。体の機能が止った人。
- しいんふうちい *siŋfutsi* [名] 死口。無手法で死をも恐れぬこと。㊦しんふうちゅ
まい っさん (無手法で死ぬことも知らない)。
- しいんま *siŋma* (植) ねぎ。しいんまとも言う。
- しいんまーび *siŋma:bi* [名] 死に真似。死んだふり。㊦しいんまーびゅー あしい (死
んだふりをする)。
- しゅー *ŋu:* [名] おじいさん。父母の父のこと。しゅーとうあんな (おじいさんとおば
あさん)。
- じゅー *dʒu:* [名] 尾。動物の尻から細長く伸びたもの。㊦～ぬ ういい (尾が生える)。
- じゅーじゅくい *dʒu:dʒijukui* [名] 十時頃の休み時間。～ぬちゃうき (十時休みの食べ
物)。
- しゅくいん *ŋukuiŋ* [名] (新) 職員。学校や官庁などで働く人。
- しゅくいんしちい *ŋukuiŋŋitsi* [名] (新) 職員室。学校で先生の控える部屋。
- しゅくぶん *ŋukubug* [名] 職分。当然やるべき仕事。
- しゅり *ŋuri* (地) 首里。
- じゅり *dʒuri* [名] 娼婦。
- しゅわ *ŋuwa* [名] 心配。嘆き。㊦～う あしい (心配をする)。

す

- すい** sui [名] 添え。加えること。
- すい** sui [動] 反る。平らな物が弓状に曲がる。㊦どうーぬ すり かい (体が反りかえる)。
- すい** sui [動] 剃る。髭や髪の毛を切る。㊦ひぎゅー ~ (髭を剃る)。あかう ~ (髪を切る)。
- すいあとう** suiatu [名] 剃り跡。かみそりで髭などを切った跡。
- すい** suii [動] 添える。加える。補助的なものをそばに加える。㊦ていがみんかい しゃしんぬ ~ (手紙に写真を添える)。
- すいどー** suido: (地) 添道。西原の南に位置する集落名。
- すー** su: [名] 潮。満ちたり引いたりする海の水のこと。㊦~ゆ んん (潮を汲む)。すーんちい (満潮) すーひー (干潮)。
- すー** su: [名] 野菜。畑などで作る副食用の植物。あいずー (和えた野菜)。すーぬんっしー (野菜の味噌汁)。㊦~ゆ にい (野菜を煮る)。
- すう** suu [動] 添う。沿う。基準になるものから離れずにいる。またすでにあるものに別のものが加わる。㊦ましいぎたんかい すい あいちい (石垣に沿って歩く)。
- すーちゅふうー** su:tʃufu: [名] 野菜造り。㊦~や むちいかしいかん (野菜造りは難しい)。
- すーばたき** su:bataki [名] 野菜畑。普通畑ははいと言う。
- すーひー** su:çi: [名] 干潮。引潮で海水が少なくなること。
- すーんちい** su:ntsī [名] 満潮。潮が満ち海水が多くなること。すーひーの対。
- すーんー** su:ŋ: [名] 潮汲み。さにちいぬ~ (三月三日の潮汲み)。
- すがい** sugai [動] 着飾る。外出のため衣服を着る。
- すから** sukara [名] すね。足の膝から足首までのこと。㊦~う きい (すねを蹴る)。
- すからぶに** sukarabuni [名] すねの骨。膝から足首までの骨。㊦~ぬ ぶりい (すねの骨が折れる)。
- すからかん** sukarakaŋ [形] 塩辛い。塩けが強くて舌を刺すような味の状態。㊦まーすー ~ (塩は塩辛い)。
- すく** suku [名] 底。低くなった一番下の部分。かーずく (川底) たにずく (谷底) いんずく (海底)。
- すくー** suku: [名] 帯。着物の上から腰に巻いて結ぶ細長い布。㊦~ゆ まふう (帯を巻く)。
- すくちいな** sukutsina [名] 大事に扱わないこと。㊦うやう すくちいなー あしい (親を大事に扱わない)。

- すくなし sukunafi [名] (新) 底無し。どこまで深いかわからない程深いこと。
- すだちい sudatsi [動] 育つ。大きく成長する。㊦っふあぬ ～ (子供が育つ)。
- すだてい sudati [名] 育て。大きく成長するようにすること。っふあ～ (子育て)。
- すだていい sudatii [動] 育てる。大きく成長するまで面倒を見る。㊦っふあう ～ (子供を育てる)。
- すでい sudi [名] 袖。衣服の両腕をおおう部分。なが～ (長袖) まる～ (短い袖)。
- すていちい sutitsi (植) 蘇鉄。幹が太く、その表面は網の目のような常緑樹。つとうちいとも言う。赤い実が成り、その実は食べられる。
- すでいふうちい sudifutsi [名] 袖口。袖の手首を通す部分。
- すぬり sunuri (地) 西原の南約一キロメートルの所にある坂になった場所。
- すば suba [名] 蕎麦。
- すふうう sufuu [動] 掬う。土地の表面を薄くけずるように掬い取る。
- すまい sumai [動] (色が) 染まる。しみ込んでその色がつく。㊦あかいるぬ ～ (赤い色が染まる)。
- すまりや sumarja [名] 染まった者。ある物事に熱中したり異性に惚れ込んだ者。
- すみい sumii [動] 染める。色をしみ込ませてつくようにする。㊦あかう っふうふう ～ (髪を黒く染める)。
- すみちいき sumitsiki [名] 染め付け。色をしみ込ませてつくようにすること。㊦いるぬ すみちいきゃー じかんぬどう かかい (色の染め付けは時間がかかる)。
- すみちいきい sumitsikii [動] 染め付ける。㊦あいゆ ちいんかい ～ (藍を着物に染め付ける)。
- すみなうしい suminausi [名] 染め直し。色が変わるように染め返すこと。
- すみなうしい suminausi [動] 染め直す。色が変わるように染め返す。㊦あかから っすんかい ～ (赤から白へ染め直す)。
- すみばき sumibaki [名] 染め分け。色をつけてそれぞれ区別すること。
- すみばきい sumibakii [動] 染め分ける。㊦ちいんぬ まいとう ていびゆー ～ (着物の前と後ろを染め分ける)。
- すみむぬ sumimunu [名] 染め物。布などに色をしみ込ませ付けること。またその織物。㊦すみむぬー かう (染め物を買う)。
- すら sura [名] 天辺。一番高い所やさきの所。きーぬすら (木梢) やーぬすら (家の頂上)。
- すらしい surasi [動] (新) 逸らす。まとはずしたり目を離すようにする。㊦っふあから みーゆ ～ (子供から目を逸らす)。
- すりかいい surikaii [動] 振り返える。体を後ろの方に反らせる。

- するい surui [名] 揃った物。ひとつするい (一揃い)。
- するいい suruii [動] 揃える。欠けたものが無いようにする。㊦きゃうだいゆ んーな
～ (兄弟を皆揃える)。
- するう suruu [動] 揃う。欠けたものが無いようにする。㊦しゅむちいぬ んーな
～ (本が全巻揃う)。
- するばん suruban [名] 算盤。四つ玉の計算用具。㊦～ぬ はじいちい (算盤をはじく)。
- すん sug [名] 損。売買などでお金が残らなかったり出費が多かったりすること。㊦あ
ちらないや ひー ~ぬ あしい (商売で損をする)。
- すん sug [動] 染む。色などがしみ込んで付くようになる。㊦いるぬ ~ (色が染む)。
ちいきむぬぬ ~ (漬物が染む)。

せ

- ぜい dzei [名] (新) 税。税金。㊦～ゆ はらう (税金を払う)。
- ぜいきん dzeikig [名] (新) 税金。㊦～ぬ いだしい (税金を出す)。
- せいこー seiko: [名] (新) ①成功 ②屋号の一つ。せいこーやーとも言う。
- せいこーやー seiko:ja: [名] 屋号の一つ。南支部に属する。
- せめん semeg [名] (新) セメント。建築などで利用する石灰質の粉。㊦～ぬ たりい
(セメントをこねる)。
- せめんがーら semeggarra [名] (新) セメン瓦。あかがーら (赤瓦) の対。セメントで
つくった灰色の瓦。
- せめんがーらやー semeggaraja: [名] (新) セメント瓦屋根の家。あかがーらやーの対。
- せんきよ senkjo [名] (新) 選挙。何かの任に当たる人を条件の中から選び出すこと。
㊦～ひー いらう (選挙で選ぶ)。
- せんちよー sentfo: [名] (新) 船長。航海中の全ての指揮をする人。

そ

- ーそー -so: [接尾] (新) 艘。船を数える助数詞。いっそー (一艘) にそー (二艘)
さんそー (三艘) よんそー (四艘) ごそー (五艘) ろくそー (六艘) ななそー
(七艘)。
- ーじょー -dʒo: [接尾] 上。上等。
- じょー dʒo: [感] さあ。勧誘する時用いる。㊦～ いかでい (さあ、行こう)。
- しょーが ʃo:ga [名] (新) 生姜。畑に作る多年草。辛みが強い。
- そーかい so:kai [名] (新) 総会。議案を話し合うための成員全体によって開かれる会合。
- じょーぐ dʒo:gu [名] 漏斗。

- じょーぐ dʒo:gu [名] 上戸。①特定のものを好む人。②名詞について複合語をつくる。
さきじょーぐ (酒好き)。
- しょーこ ʃo:ko [名] 証拠。事実を明らかにする根拠となるもの。㊤しょーこー みし
い (証拠を見せる)。
- そーしき so:ʃiki [名] (新) 葬式。死者を葬る式のこと。㊤～んな っふうふうくー
どう ちいい (葬式には黒い服を着る)。
- そーそー so:so: [副] (新) 早々。早く。急ぐ様子。㊤ふうー ～ はい (来る早々帰
る)。
- しょじょ ʃodʒo [名] 未婚の女性。
- じょーでいき dʒo:diki [名] 上出来。出来ばえが良いこと。
- じょーとうー dʒo:tʉ: [名] (新) 上等。優れていい様子。㊤～ぬ むぬー かう (上等
のものを買う)。
- そーどー so:do: [名] (新) 騒動。人々が騒いで秩序が乱れること。㊤～ゆ うくしい
(騒動を起こす)。
- そーとーぬ so:to:nu [連体] (新) 相当の。大した。程度が普通よりはなはだしい様子。そー
とーぬできやー (相当のでき物)。
- じょーのー dʒo:no: [名] 上納。納税。政府などに決められた物を納めること。
- じょーのーむぬ dʒo:no:munu [名] 上納物。政府などに納めるように決められた物。㊤
じょーのーむぬー うさみい (上納物を納める)。
- そーば so:ba [名] 相場。市場における物品の取引価格。
- じょーふう dʒo:fu [名] 上布。麻布。
- しょーぶ ʃo:bu [名] (新) 勝負。勝ち負けを争うこと。㊤しょーぶー あしい (勝負を
する)。
- しょーべー ʃo:be: [名] (屋号) 屋号の一つ。西支部に属する。
- そん soŋ [名] (新) 村。むら。いなか。町よりも小さい地方自治体。
- そんちよー sontʃo: [名] 村長。地方公共団体である村の長。

た

- たー ta: [名] 田。田んぼ。稲などを植えるために浅く水を入れた耕地。っさかだー
(白河田。宮古本島東側の田んぼ地域)。
- たー ta: [名] 二。一の次の数。ていー (一つ) たー (二つ) みー (三つ) ゆー
(四つ) いちい (五つ) むー (六つ) なな (七つ) やー (八つ) くく (九
つ) とうー (十) と数える時に使う。
- たー ta: [代] 誰。なんという人が分からない人を指す言葉。たるとも言う。㊤たーが

どう うい (誰がいるか)。

一た 一ta [接尾] 方。辺。そことその付近。かまた (あちらの方) くまた (こちらの方) うまた (そちらの方)。一なぎとも言う。

一た一 一ta: [接尾] 人の複数を示す。ふうた一 (二人) ゆた一 (四人) と数える時用いる。ただし、たうきや一 (一人) みちや一 (三人) いちいぬひとつ (五人) むゆぬひとつ (六人) ななぬひとつ (七人) や一ぬひとつ (八人) くくぬひとつ (九人) とう一ぬひとつ (十人) と数える。

た一いび ta:ibi [名] 田植え。田植えの時期。

た一いびじいぶん ta:ibidzībug [名] 田植え時分。稲を植える時期。

だ一う da:u [名] 道具。物や仕事を速く上手に行なうために用いる器具。㊦～ゆ ちいかう (道具を使う)。さやふう～ (大工道具) いうちい一～ (釣り道具)。

た一しい ta:sī [動] 費やす。消費する。浪費する。金や精力などを必要以上に使う。㊦でいんぬ ～ (金を浪費する)。

た一ちい ta:tī [名] 二つ。一つの次の数。てい一ちい (一つ) た一ちい (二つ) み一ちい (三つ) ゆ一ちい (四つ) いちいちい (五つ) と数える時用いる。

た一ちいばい ta:tībai [名] 二つ割り。物などを二つに分けること。㊦か一っす ～ひ一 ふうた一いんかい ふい (菓子を二つ割りにして二人に与える)。

た一ひ ta:çi [助] まで。動作、作用の及ぶ限界を表わす。㊦くま～ く一 (ここまで来い)。人にはがみを用いる。㊦しんし一がみ みまうが ふうう (先生まで見舞いに来る)。

た一ま一ら ta:ma:ra (昆) トンボの一種。大型で緑色のトンボ。

た一ら ta:ra [名] 俵。わらなどで編んで作り米などを入れる袋。㊦～う あん (俵を編む)。まいだ一ら (米俵) しいみだ一ら (炭俵)。

た一ん一 ta:ŋ: [名] 田芋。水田に作る芋。今は作っていない。

たい tai [助動] た。過去、完了の助動詞。連用形に接続する。㊦ぬぬどう ちちいたい (昨日書いた)。

だい dai [名] 代。値段。あるものを買ったり利用したりするのに必要なお金。ばしい～ (バス代)。ふううむぬ～ (食べ物代) しいなむぬ～ (品物代) さか～ (酒代)。㊦～ゆ はらう (代を払う)。

だい dai [名] 台。人が乗って適当な高さにするもの。㊦～ん たち一 はなっす あしい (台に立って話をする)。

だい dai [名] 題。作品の内容を読み手に伝えるための名前。㊦っぶあが さくぶんぬ～や なくばいが (君の作文の題は何か)。

たいい taii [動] 絶える。続いて来た動作。作用などが終わりになる。㊦でんと一ぬ

～ (伝統が絶える)。

たいがい taigai [名] 大概。大部分のものがそうであること。㊤～ぬ ひとつんみゃー
うーがいどう しい (大概の人々は泳げる)。

たいかく taikaku [名] (新) 体格。発育状態から見た体のかっこう。㊤かりゃー ～ぬ
どう じゃうかい (彼は体格がいい)。

たいく taiku [名] 太鼓。胴の両面に皮を張り、ばちで打って鳴らす楽器。うーだいく
(大太鼓) くだいく (小太鼓)。㊤たいくー ったちい (太鼓を打つ)。

たいじ taidzi [名] (新) 退治。害を与える者を殺してなくなるようにする。たいじ あ
しい (退治する)。

だいいい daidzi [名] 大事。大変。慎重に考えることを必要とする重大な事。だいいい
なくとう (大事な事)。㊤かいが くーだがー ～ (彼が来ないと大変だ)。

だいいいな daidzina [連体] 大変な。そのものにとって重大な事件である様子。～むぬ
(大変な考え) ～ひとつ (大変な人) ～ゆぬなか (大変な世の中)。

だいだま daidama [名] ダイナマイト。密漁の時用いる。

だいばん daibag [名] ①カツオの大きいもの。②屋号の一つ。南支部に属する。

たいまちい taimatsi [名] 松明。松、竹などを束ねて燃やし照明用にしたもの。㊤たい
まっちゅ ちいきい (松明をつける)。

だいまよー daimjo: [名] (新) 大名。広い領地を持っていた武士。

たいわん taiwag (地) 台湾。与那国の南西に位置する島。

たいわんぼー taiwambo: [名] 台湾坊。髪が丸く固まって抜ける病気。

たいんちい taintsi [名] 嫉妬。むらむらとしたねたみの気持ち。

たいんちい taintsi [動] 嫉妬する。むらむらとしてねたむ。㊤ひとつー ～ (人を嫉妬
する)。

たう tau [動] たぐる。両手を交互に動かして、手元へ繰り寄せる。㊤かびとういぬ
なーゆ ～ (風の糸をたぐる)。

たうきゃー taukja: [名] 一人。人が一名のこと。たうきゃー (一人) ふうたー (二
人) みちゃー (三人) ゆたー (四人) と数える。

たうきゃーあいちい taukja:aitsi [名] 一人歩き。一人で歩きまわること。㊤たうきゃー
あいっちゃ だいいいどー (一人歩きは危険だぞ)。

たうきゃーぐらしい taukja:gurasī [名] 独り暮らし。単数で生活すること。㊤たうきゃー
ぐらっさ さびしいかん (独り暮らしは寂しい)。

たうきゃーなー taukja:na: [名] 一人ずつ。ひとりひとり。㊤～ はいりー くー (一
人ずつ入って来い)。

たうきゃーびきどうんつふあ taukja:bikidunffa [名] 一人息子。たった一人の男の子供。

- たうきやーみどうんつぶあ taukja:midunffa [名] 一人娘。たった一人の女の子供。
- たうきやーむぬ taukja:munu [名] 独身者。結婚していない者。
- たうきやーむぬい taukja:munui [名] 独り言。相手もいないのに自分だけで物を言うこと。㊦～ぬ あしい (独り言を言う)。
- たうしい tausī [動] 立っていたものを地面につくように横にする。㊦きーゆ ～ (木を倒す)。
- たうしんばい taufimbai [名] おたふく風邪。両側の耳下腺のはれで顔がふくれて見える病気。あんまかうやく (膏薬) をはると治る。
- たうとう tautu [感] 尊。感謝・畏敬の念を表わす時に用いる語。たうとうがなしい (尊、神様)。
- たうふう taufu [名] 豆腐。ダイズをつぶして煮て固まらせた食品。㊦たうふうー にい (豆腐を煮る)。
- たうふうかしい taufukasi [名] 豆腐かす。豆腐をしぼったから。うのはな。おから。おかずにして食べる。
- たうふうちゃんぷるー taufutjampuru: [名] 豆腐に野菜などを混ぜ合わせて油でいためた食べ物。
- たうふうなび taufunabi [名] 豆腐を作ったり売る時に用いる大鍋。
- たうふうばく taufubaku [名] 豆腐箱。豆腐を入れて型を作る箱。㊦～ひー たうふうぬ かたう ちゅうふうう (豆腐箱で豆腐の型を作る)。
- たうふうゆー taufuju: [名] 豆腐湯。豆腐の作りたての軟かいもの。
- たうりい taurii [動] 倒れる。立っていたものが地面につくように横になる。㊦ないひー きーぬ ～ (地震で木が倒れる)。
- たか taka [名] (鳥) 鷹。大形の猛鳥。ワシタカ科に属する。ちいんみーだか (目が黄色い鷹) たりかしいだか (目が灰色のもの)。
- たかーたか takataka [副] 高々と。普通より高度が多い様子。㊦～とうう (高々と飛ぶ)。
- たがいん tagaij [副] (新) 互いに。関係ある二つ以上のものがある点で同じである状態。㊦～ふみあう (互いにほめ合う)。
- たかかん takakaj [形] 高い。普通より高度が上である状態。たかぎー (高い木) たかだい (高価)。㊦かぬ やまー ～ (あの山は高い)。
- たかぎー takagi: [名] 高い木。普通より木梢が地上から離れている木。㊦～ぬどう ういー うい (高い木が植えている)。びだぎー (低い木) の対。
- たかぐら takagura [名] 高倉。穀物を入れておく倉。
- たかさ takasa [名] 大切にもてなすこと。㊦～ひー やーんかい はらしい (大切にも

てなして家に帰す)。

たかさ takasa [名] 高さ。高度の程度のこと。㊦～う はかい (高さをはかる)。

たかだい takadai [名] 高価。値段が普通より多いこと。㊦くぬ ちいんな ～ (こと着物は高価だ)。

たかだい takadai [名] 高台。よっと高度な台地。㊦～んかい ぬーりー みい (高台に上って見る)。

たかだいむね takadaimunu [名] 高価な物。㊦たかだいむぬーぎゃー かうな (高価な物は買うな)。

たかでいまー takadima: [名] 高い賃金。㊦～ゆ やとういにんかい はらう (高い賃金を雇人に払う)。

たかどうくな takadukuna [名] 高い所。高所。

たかとうび takatubi [名] 高跳び。走り高跳びのこと。

たかなん takanan [名] 高波。普通より高い波。㊦～ぬ ふうう (高波が来る)。

たかばな takabana [名] 高鼻。普通より伸びた鼻。㊦～ぬどう ましい (高い鼻がいい)。

たかびとう takabitu [名] 高い人。普通より身長が多い人。㊦かぬ ひとつー ～ (あの人は高い人だ)。

たかましい takamasi [動] 高める。高くする。㊦んたう いらー ～ (土を入れて高くする)。

たかまい takamai [動] 高まる。普通よりもものが多くなる。㊦きむちぬ ～ (気持ちが高まる)。

たかまっふあ takamaffa [名] 高枕。普通より厚みのある枕。㊦たかまっふあー ふうっじゅどう やましい (高い枕は首を痛める)。

たかみい takamii [動] 高める。高くする。㊦たかとうびぬ ばーゆ ～ (高跳びのバーを高くする)。

たかむぬ takamunu [名] 高もの。㊦～ぬどう ましい (高ものがいい)。

たかやま takajama [名] 高山。高い山。㊦～んかい ぬーい (高い山に登る)。

たから takara [名] 宝。金銀などのように珍しい価値のある品物。㊦～う とうみい (宝を探す)。

たからじいま takaradzima [名] 宝島。宝のある島。

たからむぬ takaramunu [名] 宝物。大事な物。

たかりし takarifi [名] 高利子。高利。

たかんまり takammari [名] 高生まれ。背の高い人。

たき taki (植) 竹。イネ科の常緑多年草。いうちいーだき (魚釣り用の竹) むぬふしい

だき (もの干し用の竹)。

たき taki [名] 丈。背丈。身長。㊦たきゅー はかい (背丈をはかる)。

たき taki [名] (新) 滝。高い涯から流れ落ちる水流。

だき daki [助] だけ。限度。程度を表わす。㊦っぶあだきん ふいでい (君だけに与えよう)。

だきあーしい dakiasī [動] 抱き合わす。二つのものを組み合わせて一つにする。㊦きーとう きーゆ ~ (木と木を抱き合わす)。

だきあう dakiau [動] 抱き合う。互いに体をかかえ合う。㊦だきあいー なちい (抱き合って泣く)。

たきかぐ takikagu [名] 竹籠。竹で編んだ入れ物。

だきくん dakikun [動] (新) 抱き込む。腕をまわしてかかえる。

たきちいき takitsiki [名] 炊きつけ。炊きつけること。

たきちいきい takitsikii [動] 炊きつける。火をつけて燃やし始める。㊦うまっちゅ ~ (火を炊きつける)。

たきちいぶ takitsibu [名] 滝壺。滝の水が落ちてくぼんだ所。㊦〜ん うーじい (滝壺で泳ぐ)。

たきぬーい takinuzi [名] 滝登り。滝を鯉などが登ること。

たきばうちい takibautsi [名] 竹箒。竹で出来た箒。

たきびら takibira [名] 竹籠。竹で作った籠。

たきふうじい takifudzī [名] 竹釘。竹で出来た釘。かにふうじい (鉄釘) の対。舟など錆をふせぐものに使う。

たきやま takijama [名] 竹山。竹がたくさん生えた所。㊦〜んかい はい (竹山に入る)。

たきやり takijari [名] (新) 竹槍。竹で出来た槍。㊦〜ひー ちいちい (竹槍で突く)。

たく taku [名] 蛸。八本の足をもつ軟体動物。㊦たくー ゆでいい (蛸をゆでる)。

たぐ tagu [名] 担桶。桶。水などを入れて運んだりするもの。みじい〜 (水桶) しーる〜 (水肥桶)。㊦たぐー かたん (桶を担う)。

たくう takuu [動] 布団などを畳む。㊦ふうとうんぬ ~ (布団を畳む)。

たくちいぶ takutsibu [名] 蛸壺。蛸をとらえる壺。

たしい tasi [動] 足す。加える。㊦みっじゅ ~ (水を加える)。

だしい dasī [名] だし。煮だし。だし汁。㊦だっす いりい (だしを入れる)。

たしいかい tasikai [動] 助かる。危険などからのがれる。㊦うーっふいー うたいすが ~ (溺れていたが助かる)。

たしかな tafikana [連体] (新) 確かな。間違いなく、しっかりしている状態。たしかなくとう (確かな事) たしかなむぬ (確かなもの)。

- たしかみい tafikamii [動] (新) 確かめる。あいまいな点をはっきりさせる。㊦まちがいゆ ~ (間違いを確かめる)。
- たしかん tafikag [副] (新) 確かに。絶対とは言えないが、ほぼ間違いのない状態。㊦~ふうーがまた (確かに来るべきだ)。
- たしいき tasiki [名] 助け。救助。援助。㊦つぶあが たしいきゅー うきでい (君の助けを受けよう)。
- たしいきい tasikii [動] 助ける。援助する。危険などからのがれさせる。㊦ひとつー ~ (人を助ける)。
- たしいきぶんがいがい tasikibunnigai [名] 健康快復願い。病人のいる家が行なう。
- たじいな tadzina [名] 手綱。馬のくつわにつけて手に持つ綱。㊦~う ちいきい (手綱をつける)。
- たじいにい tadzīnii [動] (新) 訪問する。
- たじいにびとう tadzīnibitu [名] (新) 尋ね人。居所が分からずさがされている人。
- ただ tada [名] 只。代金のいらぬこと。㊦~ひー はたらちい (只で 働く)。~ぬひとつ (只の人)
- ただ tada [副] 只。もっぱら。そのことだけ。㊦~ なふうばかーいひー なうまいあっじゃん (只泣くばかりで何も言わない)。
- たたかい tatakai [名] 戦い。戦うこと。勝負。㊦~ゆ うくしい (戦いを起こす)。
- たたかう tatakau [動] 戦う。相手を負かそうとして争う。㊦やりひー ~ (槍で戦う)。
- たたきくん tatakikuj [動] たたき込む。
- ただしい tadasī [動] 正す。間違っていることを直す。㊦うくないゆ ~ (行ないを直す)。
- ただばたらちい tadabataratsī [名] ただ働き。無償で労働力を出すこと。㊦ただばたらちゅ あしい (ただ働きをする)。
- たたみ tatami [名] 畳。藁草のごぎで作った敷物。㊦たたみゅー しいちい (畳を敷く)。
- たたみやー tatamija: [名] 畳屋。畳を作るところ。
- ただりい tadarii [動] ただれる。
- たたん tatag [動] 畳む。折り返してかさねる。㊦ちいんぬ ~ (衣服を畳む)。
- たち tatji [名] (新) 太刀。長い刀のこと。
- たちあい tatjiai [名] 立合い。立ち合うこと。㊦~ゆ あしい (立合いをする)。たちあいにん (立合い人)。
- たちあう tatjiau [動] 立合う。証人などとしてその場に出る。㊦あちいないどうくなん ~ (商売場に立合う)。

- たちぎ tatfigi [名] (新) 立木。地上に生えている樹木。
- たちしいくん tatjisikug [動] 立ちすくむ。恐ろしさなどで立ったまま動けなくなる。
 ㊦あかつちゅ みー ~ (血を見て立ちすくむ)。
- たちどうまい tatjidumai [動] 立ち止まる。歩くのをやめて止まる。㊦んちいなかん
 ~ (途中で立ち止まる)。
- たちなうい tatjinai [動] 立ち直る。倒れそうになっていたが、再びしっかりと立つ。
- たちば tatjiba [名] (新) 立場。立っている所やその人が占めている位置。㊦ばが た
 ちばう かんがある (私の立場を考えろ)。
- たちばなしい tatjibanasi [名] 立ち話。立ったまま話をする事。㊦たちばなっす あ
 しい (立ち話をする)。
- たちむかう tatjimukau [動] (新) 立ち向かう。正面に向かって立つ。
- たちい tatsi [動] 立つ。
- だちい datsi [動] 抱く。
- たちい tatsi [名] 辰。十二支の一つ。たちいどうしいんまり (辰年生まれ)。
- たちいうーじい tatsi:udzī [名] 立泳ぎ。体をたてたまま主に足を使って泳ぐこと。㊦
 ~ひー うーじい (立泳ぎで泳ぐ)。
- たちいがり tatsigari [名] 立枯れ。草木が立ったまま枯れること。
- たちいきい tatsikii [動] 焚きつける。燃やすための火をつける。㊦たむぬんかい ~
 (薪に焚きつける)。
- たちいしいぐとう tatsisigutu [名] 立ち仕事。立ってする仕事。㊦たちいしいぐとうー
 くーかん (立ち仕事はきつい)。
- たちいなり tatsinari [名] 立ち慣れ。立つことに慣れていること。
- たちいふうさがい tatsifusagai [動] 立ちふさがる。
- たちいふうんばい tatsifumbai [動] 立ちふんばる。
- たちいゆん tatsijug [名] 立ち読み。立ちながら読むこと。㊦ふんやーん ~ぬ あ
 しい (本屋で立ち読みをする)。
- たちいみー tatsimi: [名] 立ち見。立ったままで見る事。㊦~や ひー くーかん
 (立ち見をしてきつい)。
- だつきよー dakkjo: [名] ニンニクに似た畑で出来る多年草。甘酢などにつけて食べる。
- たっじい taddzī [動] たぎる。沸きあがる。㊦ゆーぬ ~ (湯がたぎる)。
- たてい tati [名] 縦。上から下への方向。ゆく (横) の対。㊦~ん ならう (縦に並ぶ)。
- たていいi tatii [動] 立てる。建てる。
- たていいいとう tatiitu [名] 縦糸。縦の方向に通っている糸。ゆくいとう (横糸) の対。
- たていかいitai tatikaii [動] 立て替える。返してもらう約束で、当人に代わってお金を

- 払う。㊤うっとうん かーりー ～ (弟に代わって立て替える)。
- たていがき tatigaki [名] 縦書き。行が上から下への順に書かれていること。ゆくがき (横書き) の対。㊤～ひー じいーゆ ちちい (縦書きで字を書く)。
- たていじま tatidzima [名] 縦縞。上から下に向っている縞模様。ゆくじま (横縞) の対。
- たていなうしい tatinausī [動] 立直す。㊤やーゆ ～ (家を立直す)。
- たていふうだ tatifuda [名] 立札。㊤～う たていい (立札を立てる)。
- たていまし tatimaji [名] (新) 建て増し。今までの建物に加えて建てること。㊤たていましゅー あしい (建て増しをする)。
- たていゆく tatijuku [名] 縦横。縦と横。
- たてがみ tategami [名] (新) 調髪的一种。ぼうじい (丸坊主) に対し、長髪的一种。
- たとうい tatui [名] (新) 喩え。たとえること。㊤～ぬどう あたらん (喩えがまずい)。
- たとういい tatuii [動] (新) 喩える。ある事柄を分かりやすく説明するため、それと似た性格のある身近な物事を例に出す。㊤んむとう わたう ～ (雲と綿を喩える)。
- たとういばなし tatuibanasi [名] 喩え話。㊤たとういばなっす ちいちい (喩え話を聞く)。
- たどうい tadui [動] 辿る。尋ねながら苦勞して目的地まで行く。㊤っふあんっちゅ やっとうかっとう ～ (暗い道をやっつとで辿る)。
- たな tana [名] ①板。平たい材木。㊤～う ぬくじいーひー ばちい (板を鋸で切る)。
②棚。板を横に渡して物を載せるもの。㊤～んかい ぬーしい (棚に載せる)。
- たなばた tanabata [名] (新) 七夕。旧七月七日の行事。
- たに tani [名] 辜丸。男子の生殖腺。精子を産して内分泌を行なう。ふうぐいとも言う。
- たに tani [名] 谷。両側が山に囲まれて低くなり、細長く一続きになった土地。㊤～んかい うりい (谷におりる)。
- たに tani [名] 種。親の植物と同じになるような小さな粒。さにとも言う。㊤たにゅーまちい (種を蒔く)。
- たちがーい tanigazi [名] 種変わり。変種。さにがーいとも言う。
- たにづく tanidzuku [名] 谷底。谷の一番深い所。㊤～んかい うとうしい (谷底へ落とす)。
- たにとうい tanitui [名] 種取り。去勢をすること。
- たにとうりゃ taniturja [名] 去勢をする人。ぬーまぬ～ (馬の去勢をする人)。
- たにまちい tanimatsī [名] 種を土地に生えるようにすること。㊤たにまっちゃ あみぬあとうどう ましい (種蒔きは雨の後がいい)。
- たぬしみ tanujimi [名] (新) 楽しみ。楽しむこと。㊤ばー ふんゆんぬどう ～ (ぼ

くは読書が楽しみだ)。

たぬしん tanufjig [動] (新) 楽しむ。㊦ふんぬ ゆみー ~ (本を読んで楽しむ)。

たぬまいむぬ tanumaimunu [名] 頼まれ物。他人からの預り物や言伝を依頼されること。

㊦たぬまいむぬー うぬひとつんかい とうらしい (頼まれ物を例の人に渡す)。

たぬん tanug [名] 頼み。お願い。㊦っぶあが ~ぬ ちいかでい (君の頼みを聞こう)。

たぬん tanug [動] 頼む。ある事柄を求めて相手をお願いする。㊦ひとつんかい むぬー ~ (人にものを頼む)。

一たばー taba [接尾] 束。束になっているものを数える助数詞。ひとつ~ (一束)

ふうた~ (二束) み~ (三束) ゆ~ (四束) いちい~ (五束) るく~ (六束)

なな~ (七束) や~ (八束) くく~ (九束) とう~ (十束) と数える。

たばい tabai [動] ①くつつく。あるものの部分に接触してへばりつく。㊦どうるぬ

みはなんかい ~ (泥が顔にくつつく)。②けんかする。とっ組み合う。㊦しーとうぬ

どう たばりー うい (生徒がけんかしている)。

たばく tabaku [名] 煙草。火をつけて煙を吸う嗜好品。㊦たばくー ふうちい (煙草を吹く(吸う))。

たばくいり tabakuiiri [名] 煙草入れ。煙草を保管して持ち歩くもの。

たばくぶん tabakubug [名] 煙草盆。煙草を保管するもの。

たばに tabani [名] 束。一まとめにしたもの。㊦うぬ たばにゆー かたみ (その束を担げ)。

たばにい tabanii [動] 束ねる。束にする。ある限られた一まとまりにする。統率する意味はない。㊦っさう ~ (草を束ねる)。

たび tabi [名] 旅。自宅を離れて遠い地へ行くこと。㊦たびゆー あしい (旅をする)。

たび tabi [名] 足袋。爪先が二つに分かれた布製の履物。㊦たびゆー んん (足袋を履く)。

だび dabi [名] 茶毘。

たびあきやうだ tabiakjauda [名] 旅商人。旅商いをする人。行商人。

たびあちいない tabiatsinai [名] 旅商い。行商。旅をしながら商売をすること。㊦~ゆ あしい (旅商いをする)。

たびしいがた tabisigata [名] 旅姿。旅行する時の服装などを整えた恰好。

たびだちい tabidatsi [名] 旅立。門出。旅行に出ること。㊦たびたっちゃ いちい (旅立はいつ?)

たびじいかり tabidzīkari [名] 旅疲れ。

たびすがい tabisugai [名] 旅仕度。旅の準備。㊦~ゆ あしい (旅仕度をする)。

たびびとう tabibitu [名] 旅人。旅行をしている人。

- たびまーい** tabimai [名] 旅回り。ほうほうを巡業や行商をして歩き回ること。
- たびやどう** tabijadu [名] 旅宿。旅行の途中で泊るところ。
- たま** tama [名] 玉。①丸いもの。②勾玉。㊦～う ふうじいんかい かきい (勾玉を首に掛ける)。③弾丸。㊦～う くみい (弾を込める)。
- たま** tama [名] 分け前。取り分。㊦くりゃー っぶあが ～ (これは君の取り分だ)。
- たまい** tamai [名] 溜まり。溜まること。溜まった所。
- たまい** tamai [動] 溜まる。一つの所に物が多く残る。㊦みじいぬ ～ (水が溜まる)。
でいんぬ ～ (お金が溜まる)。
- たまいみじい** tamaimidzi [名] 溜まり水。
- だまがい** damagai [動] 懲りる。前の失敗を悔い、もうやるまいと思う。㊦だまがりー
いっじゃ にゃーん (懲りて元気がない)。
- だまがらしい** damagarasi [動] 懲りさせる。失敗を悔い二度とそうしようと思わなくする。
- たましい** tamasi [名] 魂。肉体に宿り、精神の働きをつかさどるもの。㊦～ぬ ぬきい (魂が抜ける)。
- だましい** damasi [動] だます。うそを本当と思い込ませる。しいかしいとも言う。㊦
ひとうー ～ (人をだます)。
- だましうち** damaʃiutʃi [名] だまし討ち。だまして相手を討つこと。
- たましいぬぎ** tamasiinuki [名] 魂抜き。魂が肉体から抜け落ちること。
- だましゃ** damatʃa [名] だます人。人をよくだます人。しいかしゃとも言う。
- たましいゆらう** tamasiʃirau [名] 魂を呼ぶこと。またその儀式。
- たまどうーい** tamadu:i [名] ガラス作のランプ。
- たまとー** tamato: (植) トマト。ナス科の一年草。ビタミンA・Cが多く含まれたもの。
- たまな** tamana (植) 玉菜。キャベツ。アブラナ科の二年草。㊦～う いーちい (キャベツをいためる)。
- たまびー** tamabi: [名] おはじき。平たいガラス玉。㊦～ひー あすう (おはじきで遊ぶ)。
- たまびーぎー** tamabi:gi: (植) サキシマハマボウ。
- たまん** tamag (魚) 魚の一種。
- たみ** tami [名] ため。そのものの将来性を考えてすること。㊦っさぎゆーいぬ ～ぬ
でいん (結婚式のためのお金だ)。
- だみ** dami [名] 駄目。むだ。だみなむぬ (駄目な物)。だみなひとう (駄目な人)。
- たみい** tamii [動] 矯める。形の悪いものを直して恰好をよくする。㊦かびとういぬ
はななーゆ ～ (尻のひもを矯める)。

- たみい** tamii [動] 溜める。ものが一ヶ所に多くあるようにする。㊦でいんぬ ～ (お金を溜める)。
- たみしい** tamisi [動] 試す。試みる。実際に自分でやって見て調べる。㊦ひらいどうしいぬが たみひー みい (出来るかどうか試して見る)。
- たみしいん** tamisiŋ [副] 試しに。㊦～ ひー みい (試しにやって見る)。
- たみん** tamiŋ [接続] ために。それゆえ。
- だむ** damu [名] (新) ダム。水を堰き止めるところ。
- たむちい** tamutsi [動] 保つ。ある状態が変化せず長く続くようにする。
- たむとう** tamutu [名] 袂。和服の袖の下方のふくらんだ部分。㊦～んかい でいんぶくるー いりい (袂に財布を入れる)。
- たむぬ** tamunu [名] 薪。燃やして燃料にするための木。㊦たむぬー むーしい (薪を燃やす)。
- たや** taja [名] 力。働きの基として備えているもの。ちいからとも言う。㊦～う いだしい (力を出す)。
- たゆい** tajui [名] 頼り。他人の力を乞うこと。
- たゆい** tajui [動] 頼る。助けを借りる。㊦ひとつんかい ～な (人に頼るな)。
- だら** dara [助動] だろう。そうであることが十分に推量出来ることを表わす。㊦かいがどう かちいだら (彼が書くだらう)。
- たらい** tarai [名] 盥。水を入れてものを洗う丸くて平たい器。㊦～に ちいんぬ あらう (盥に着物を洗う)。
- たらう** tarau [動] 足りる。量や質が十分である。
- だらか** daraka [名] 嘘。虚言。事実でないこと。㊦～う あい (嘘を言う)。
- たらしい** tarasi [動] 垂らす。上から下へ液体が落ちるようにする。㊦ゆだいゆ ～ (よだれを垂らす)。
- たらたら** taratara [擬態] たらたら。液体が続けざまにしたたり落ちる様子。㊦あしぬ ～ ながりい (汗がたらたら流れる)。
- だらだら** daradara [擬態] だらだら。体がにぶく動く様子。㊦あちいさひー んっちゅー あいふう (暑さで道をだらだら歩く)。
- たらま** tarama (地) 多良間。宮古本島から南西へ約60キロメートルの所にある島。たらまじいま (多良間島)。
- 一だり** 一dari [接尾] だらけ。一面にそのものでおおわれること。どうるだり (泥だらけ) んなぐだり (砂だらけ) あかいだり (蟻だらけ)。
- たりの** tarii [動] 垂れる。液体が上から下へしたたり落ちる。㊦ゆだいぬ ～ (よだれが垂れる)。

- たりに** tarii [動] 酒を醸造する。㊤さきゅー ～ (酒を醸造する)。
- だりに** darii [動] だれる。疲れる。くたびれる。主として肉体的な疲れに言う。精神的な疲れには、ちいむやんを使う。㊤はいちいにゃーや ひー ～ (かけっこをして疲れる)。
- たにかしい** tarikasi [名] ①酒のもろみ。㊤たにかっす たりに (酒のもろみを醸造する)。②目の灰色の鷹。鷹の一種。
- だりんぎい** darigii [動] 疲れ果てる。疲労がかなりの量に達する。㊤ゆかーまがみ あいきー ～ (遠くまで歩いて疲れ果てる)。
- たる** taru [名] 樽。酒などを入れる蓋のある丸い大形の木の容器。㊤～んかい さきゅー いりい (樽に酒を入れる)。
- たる** taru [代] 誰。何という人が素姓の分からない人を指す言葉。㊤かりゃー ～が (彼は誰か)。たるがむぬ (誰のもの)。
- だるー** daru: [名] だらっとしている者。元気がない者。㊤かりゃー ～ (彼はだらっとした者だ)。
- だるかん** darukan [形] だるい。疲労などで体に元気がない。㊤どうーぬ ～ (体がだるい)。
- たるた** taruta [代] 誰たち。不定称たるの複数形。㊤かぬきゃー ～ (彼たちは誰だ)。
- たるぬひゃー** tarunuça: [連語] どやつ。不定称の卑下した用法。㊤かりゃー ～ (彼はどやつだ)。
- だるま** daruma [名] 達磨。起上りこぼしを兼ねた玩具。㊤～ぬ くるがい (達磨がころがる)。
- だるやん** darujan [名] だるく感じるような病気のこと。
- たるん** tarun [動] 弛む。張っていた物がだらりとなる。㊤ちえんぬ ～ (チェーンが弛む)。
- たん** tag [名] 炭。しいみとも言う。㊤～ぬ むーしい (炭を燃やす)。
- たん** tag [名] (新) 痰。のど・気管から出る粘液性の分泌物。いっだいとも言う。㊤～ぬ はちい (痰を吐く)。
- ーたん** ーtag [接尾] 反。着物の一着分の長さ。また田畑の面積の単位。
- だん** dag [名] 段。階段。台を重ねて次第に高く登れるようにしたもの。㊤～ぬ ぬーい (段を登る)。
- だんがー** dagga: [名] 内緒話。関係者以外には知らせないような話。㊤～ゆ あしい (内緒話をする)。
- だんがーい** daggai [名] 段変わり。段さがり。㊤～んかい きーゆ ちいきる (段さがりに気を付ける)。

- たんく taŋku [名] (新) タンク。水などを入れる大きな容器。
- だんぐ daŋgu [名] 団子。米の粉をゆでて、丸く蒸した食べ物。団子に似たものにふうきゃぎがある。
- たんしい tansi [名] 箆筒。衣服などを入れておくための引出しのついた家具。㊦～んかい ちいんぬ いりい (箆筒に着物を入れる)。
- たんだーら tandra [名] 炭俵。炭を入れた俵。しいみだーらとも言う。㊦～う かんたん (炭俵を担ぐ)。
- たんたん tantan (擬声) トントン。机などをたたく音。㊦～ていー ちいくいゆ ったちい (トントンと机をたたく)。
- だんだんていー dandanti: [副] だんだんと。次第に。㊦～ っふあふう ない (次第に暗くなる)。
- たんちい tantsi [名] 短気。すぐ怒ったり終りが待てない性分。㊦たんっちゃ ばいむぬ (短気は悪い)。
- だんみかしい dammikasi [動] ドンドンする。㊦たいくー ～ (太鼓をドンドンする)。

ち

- ちい tʃii [動] 散る。一緒にあったものが離れてしまう。㊦はなぬ ～ (花が散る)。
- ちーやー tʃi:ja: (屋号) 屋号の一つ。南支部の村はずれにある。
- ちえん tʃieg [名] (新) チェーン。自転車などのくさり。㊦～ぬ はい (チェーンを張る)。
- ちかい tʃikai [名] (新) 誓い。誓うこと。㊦～ゆ ばっしいな (誓いを忘れるな)。
- ちがい tʃigai [名] 違い。差異。相異。㊦～や にゃーん (違いは無い)。
- ちかう tʃikau [動] (新) 誓う。ある行為の実行を堅く決意する。㊦みゅーとうん ならっていー ～ (夫婦になろうと誓う)。
- ちかぐる tʃikaguru [名] (新) 近頃。現在に近い時刻。㊦ちかぐるー かりゃー くーん (近頃彼は来ない)。
- ちかみ tʃkami [名] (新) 近眼。近視。眼球の状態が悪く、遠くの物を見ることが出来ない目。とうーみ (遠視) の対。
- ちかゆい tʃikajui [動] (新) 近寄る。そのものと離れないように移動する。㊦ひとつんかい ～ (人に近寄る)。
- ちからわざ tʃikarawadza [名] (新) 力業。強い力を出してする業。
- ちぎり tʃigiri [名] (新) 契り。約束。みゅーとうぬ～ (夫婦の契り)。
- ちじまい tʃidzimai [動] (新) 縮まる。長さや距離が短くなる。㊦ちいんぬ ～ (着物が縮まる)。

- ちじみい tʃidʒimii [動] (新) 縮める。長さや距離が短くなるようにする。
- ちじん tʃidʒiŋ [名] (新) 縮み。長さや距離が短くなること。
- ちじん tʃidʒiŋ [動] (新) 縮む。長さや距離が短くなる。㊦ぐむぬ ~ (ゴムが縮む)。
- ちっちつ tʃittʃi? (擬声) 舌打ちの時の音を表わす。㊦~ていー ったう ならしい (ちっちつと舌をならす)。
- ちらかい tʃirakai [動] (新) 散らかる。物が整理されずにばらばらになる。普通しいきゃーりいを使う。㊦ふんぬ ~ (本が散らかる)。
- ちらかしい tʃirakasi [動] (新) 散らかす。物が整理されずばらばらの状態にする。㊦ぐみゅー ~な (ゴミを散らかすな)。
- ちらしい tʃirasi [動] (新) 散らす。整理されずにばらばらの状態にする。㊦いるーかびーん ~ (色を紙に散らす)。
- ちらちら tʃiratʃira (擬態) ちらちら。小さいものが飛び散る状態。㊦~ていー がーぬ とうう (ちらちらと蛾が飛ぶ)。
- ちらばい tʃirabai [動] (新) 散らばる。整理されずばらばらの状態になる。㊦んーな ちらばりー ひんぎる (皆散らばって逃げろ)。
- ちり tʃiri [名] (新) 塵。ほこり。ゴミ。㊦ちりゅー っすう (塵を拾う)。
- ちんちん tʃintʃiŋ [名] (幼) ちんちん。幼児語で陰茎のこと。
- 一ちい -tsi [接尾] ~つ。数詞の下に添えて個数を表わす。ひていーちい (一つ) ふうたーちい (二つ) みーちい (三つ) ゆーちい (四つ) いちいちい (五つ) んーちい (六つ) ななちい (七つ) やーちい (八つ) くくぬちい (九つ) とうー (十) と数える。
- ちいー tsi: [名] 血。動物の体内にある赤い液体。酸素などを体中に運ぶ。普通あかちいと言う。㊦~ぬ いでいい (血が出る)。
- ちいー tsi: [名] 釣針。魚を釣る時使う針。㊦~ひー いうー ちいい (釣針で魚を釣る)。
- ちいー tsi: [名] 気。気性。心の働き。
- ちいー tsi: [名] 乳。乳汁。乳房から出る白い液体。㊦~ゆ ぬん (乳を飲む)。
- ちいー tsi: [名] 霧。水蒸気が凝結して煙のように地上をおおう現象。㊦~ぬ かかい (霧がかかる)。
- ちいい tsi: [動] 着る。身につける。衣服などを体にまとう。㊦ちいぬ ~ (着物を着る)。
- ちいーう tsi:u [名] 交尾。動物の性の交わり。
- ちいーう tsi:u [動] 交尾する。動物が性の交わりをする。㊦いぬ ~ (犬が交尾する)。

- ちいーいる tsī:iru [名] 血の色。赤。赤い色。
- ちいーかた tsī:kata [名] 着方。衣服を着る様子。㊦かいが ～う みーる (彼女の着方を見ろ)。
- ちいーきやうだい tsī:kjau dai [名] 乳兄弟。同じ乳を飲んで育った兄弟。㊦っぶあとうばんとうや ～ (君とぼくとは乳兄弟だ)。
- ちいーつさかん tsī:ssakaj [形] 乳くさい。乳のにおいがする様子。
- ちいーなり tsī:nari [名] 着慣れ。㊦～ぬどう ちいーやしいかい (着慣れが着やすい)。
- ちいーなりじいん tsī:naridzīj [名] 着慣れた着物。
- ちいーばー tsī:ba: [名] ①犬歯。②牙。
- ちいーばなり tsī:banari [名] 乳離れ。乳を飲まなくなること。
- ちいーふうじい tsī:fudzī [名] 乳首。乳のもり上がった所。ちいーぬふうじいとも言う。
- ちいーむぬ tsī:munu [名] 着る物。身にまとう物。㊦ちいーむぬー とうみる (着る物をさがせ)。
- ちいーる tsī:ru [名] 黄色。三原色の一つ。菜の花のような色。
- ちいが tsiga [名] 枡。酒や穀物の量をはかる器。㊦～ひー まいゆ はかい (枡で米をはかる)。
- ちいか tsika [名] 柄。刀剣などの手で握る部分。
- ちいかーしい tsīka:sī [動] (目上の人を)お迎えする。
- ちいかい tsīkai [名] 使い。使いの者。㊦～ぬどう ふうう (使いが来る)。
- ちいかい tsīkai [動] つかる。浸る。㊦みじいん ～ (水につかる)。
- ちいがい tsīgai [名] 関節。骨と骨とがつながって動くようになった部分。
- ちいがい tsīgai [名] 着替え。新しく交替するような衣服。㊦～ゆ むちー とうまいが いふう (着替えを持って泊まりに行く)。
- ちいかいい tsīkaii [動] 仕える。主人や目上の人側にいて世話をする。㊦あるじいん～ (主人に仕える)。
- ちいかいい tsīkaii [動] 聞こえる。音が耳でとらえることが出来る。㊦いんぬ ないぬ～ (海鳴りが聞こえる)。
- ちいかいかた tsīkaikata [名] 使い方。使用する方法。㊦～う っさん (使い方を知らない)。
- ちいかいくるしい tsīkaikurusī [動] 酷使する。ひどく使う。㊦とうっじゅ ～ (妻を酷使する)。
- ちいかいくん tsīkaikuj [動] 使い込む。予算以上に金銭を出費する。㊦でいんぬ～ (お金を使い込む)。
- ちいかいとうばしい tsīkaitubasī [動] 酷使する。さんざん使う。

ちいかいはてい tsikaihatii [動] 使い果てる。使いつくす。使い終える。㊦んーなが
でいんぬ ～ (皆のお金を使い果てる)。

ちいかいひならしい tsikaicinarasī [動] 使って減らす。㊦いんぴちいぬ しんぬ ～
(鉛筆の芯を使って減らす)。

ちいかいびー tsikaibi: [名] 使用人。主人などの世話をする人。

ちいかいふうつちい tsikaifuttsī [動] こき使う。酷使する。ひどく使う。

ちいかいみじい tsikaimidzī [名] 使い水。使用水。ぬんみじい (飲み水) の対。㊦～
ひー さらう あらう (使い水で皿を洗う)。

ちいかいむぬ tsikaimunu [名] ①使いもの。使用に供するもの。②奉公人。

ちいかう tsikau [動] 使う。使用する。他人を働かせる。遣う。㊦ひとうー ～ (人を
使う)。きーゆ ～ (気を遣う)。

ちいかかん tsikakaj [形] 近い。距離や時間のへだたりが少ない。㊦やーから がっ
こーや ～ (家から学校は近い)。しがっちゃ ちいかふう なりー うい (四月は近
くなった)。

ちいかさ tsikasa [名] 司。神女。神事や祭を行なう女性。

ちいかさんま tsikasamma [名] 位の高い神女。

ちいかちいか tsikatsika (擬態) つかつか。勢いよく進み出る様子。㊦～ていー あい
ちい (つかつかと歩く)。

ちいかないうや tsikanaiuja [名] 養い親。養ってくれる親。なしいうや (生みの親) の
対。㊦～んかい ふからっさ あしい (養い親に感謝する)。

ちいかないぬしい tsikanainusī [名] 飼主。㊦くぬ いんぬ ちいかないぬっさ たる
(この犬の飼主は誰だ)。

ちいかないむぬ tsikanaimunu [名] 飼っている家畜。㊦ちいかないむぬー しいなしい
な (家畜を死なすな)。

ちいかなう tsikanau [動] 養う。養育する。飼う。㊦まゆー ～ (猫を飼う)。

ちいから tsikara [名] 力。ものごとを行なう能力。たやとも言う。㊦～う いたしい
(力を出す)。

ちいからじいま tsikaradzīma [名] 力相撲。技でなく力づくで押す相撲。

ちいからしいぐとう tsikarasīgutu [名] 力仕事。強い体力を必要とする労働。㊦ちいか
らしいぐとうー くーかん (力仕事はきつい)。

ちいからだみしい tsikaradamisī [名] 力試し。能力や体力を試すこと。

ちいからまぎ tsikaramaki [名] 力負け。力が劣って勝負を失うこと。

ちいからわざ tsikarawadza [名] (新) 力業。体力を必要とする仕事。

ちいかり tsikari [名] 疲れ。くたびれ。疲労。㊦たびぬ ～ぬ いでいい (旅の疲れが

出る)。

一ちいかん 一tsikaŋ [接尾] つかみ。草刈などでひとつかみして数える時の助数詞。ひとつ～(一つかみ) ふうた～(二つかみ) みー～(三つかみ) ゆー～(四つかみ) いちい～(五つかみ)と数える。

ちいかんちい tsikantsi [名] 近道。目的地まで距離が少ない道路。㊤ちいかんちいふう(近道に行く)。

ちいかんびー tsikambi: [名] つかみ屁。にぎって相手にかがせる屁。

ちいぎ tsigi [名] 次。順序ですぐあとのこと。㊤っぶあが ばんな ～(君の番は次だ)。

ちいきあーしい tsikia:sī [動] 突き合わす。

ちいぎあーしい tsīgiasī [動] 継ぎ合わす。別々のものを継いで一つにする。㊤きーとう かにゆー ～(木と金属を継ぎ合わす)。

ちいきあい tsikiai [名] (新) 付き合い。交際すること。

ちいきあう tsikiau [動] (新) 付き合う。交際する。㊤ひとつとう ～(人と付き合う)。

ちいきあぎ tsikiagi [名] (新) 突き上げ。下の者が上の者に行動するようせまること。

ちいきあぎい tsikiagii [動] (新) 突き上げる。下から突いて上に上げる。

ちいきあつぶあ tsikiavva [名] つけ油。頭髪につける油。まみあつぶあ(クリーム油)の対。

ちいきい tsikii [動] 付ける。①二つのものをぴったり一緒にする。②傷を付ける。③火を点ける。㊤うまっちゅ ～(火を点ける)。④種付けをする。⑤命名する。㊤なーゆ ～(名前を付ける)。⑥他の動詞に複合して用いる。うしちいきい(押し付ける)。

ちいきい tsikii [動] 漬ける。浸す。㊤ちいきむぬー ～(漬物を漬ける)。

ちいきかいしい tsikikaisī [動] 突き返す。㊤ばうひー ～(棒で突き返す)。

ちいぎき tsīgiki [名] 接ぎ木。植物の芽や枝を別の木につぐこと。

ちいきぐすい tsikigusui [名] 付け薬。付けたりはったりする薬。

ちいきじいき tsikidziki [名] (新) 月々。㊤～ でいんぬ うくい(毎月お金を送る)。

ちいきだき tsikidaki [名] マッチ。こすって火をつける用具。㊤～ひー うまっちゅちいきい(マッチで火を点ける)。

ちいぎちいぎん tsīgitsīgig [副] 次々に。あとからあとから。㊤～ はいりー ふうう(次々に入って来る)。

ちいきとうばしい tsikitubasī [動] 突き飛ばす。手荒らく突く。

ちいきな tsikina [名] 漬菜。漬物。

ちいきなじゅー tsikinadzu: [名] 漬物。白菜。㊤～ゆ ちいきい(白菜を漬ける)。

ちいきはじいみ tsikihadzīmi [名] 月初め。㊤～ん うくり(月初めに送れ)。

- ちいぎばー tsigiba: [名] 継ぎ歯。人工の歯を継ぎ足すこと。
- ちいきびー tsikibi: [名] つけ火。ついている火。また薪につけるための火。㊦～ひー
たむぬんかい ちいきい (つけ火で薪につける)。
- ちいきむぬ tsikimunu [名] 漬物。野菜などを塩や味噌などでつけたもの。㊦ちいきむ
ぬー ちいきい (漬物をつける)。
- ちいくい tsikui [名] 机。本を読んだり字を書いたりする台。㊦～ん ちいちい (机に
つく)。
- ちいぐい tsigui [名] (植) ひょうたん。ウリ科のつる性一年草。長大でまん中のくびれ
た実が成る。㊦～ぬ ない (ひょうたんが成る)。
- ちいくしい tsikusī [動] (新) 尽くす。
- ちいぐなう tsigunau [動] (新) 償う。
- ちいごー tsigo: [名] (新) 都合。おり合い。事情。㊦～ぬどう ばいかい (都合が悪
い)。
- ちいじい tsidzī [名] 唾。唾液腺から分泌さへる粘液。㊦ちいっじゅ とうばちい (唾
を吐く)。
- ちいじい tsidzī [名] 頂。山の頂上。最も高い所。やーぬ～ (家の天辺) やまぬ～
(山の頂上)。㊦～んかい ぬーい (頂に登る)。
- ちいじい tsidzī [動] 注ぐ。液体を器にそそぎ入れる。㊦ちゃーゆ ～ (お茶を注ぐ)。
- ちいじい tsidzī [動] 継ぐ。後を受けて続ける。㊦あとうー ～ (後を継ぐ)。
- ちいじいき tsidziki [名] 続き。つづくこと。㊦ちいじいきゃー あちゃ みーでい
(続きは明日見よう)。
- ちいじいちい tsidzītsī [動] 続く。ものが連続して行く。㊦んちいぬ ながふう ～
(道が長く続く)。
- ちいじいふうちい tsidzifutsī [名] 継ぎ口。二つのものを合わす時のその間。
- ちいじいふうん tsidzifug [名] 握りこぶし。
- ちいじいん tsidzīg [名] 鼓。小太鼓。㊦～ぬ うちい (鼓を打つ)。
- ちいだいくん tsidaikug [名] 人参。根が黄赤色の二年草。根・若葉は食用。㊦～ぬ
いびい (人参を植える)。
- ちいちい tsitsī [名] 月。①地球の衛星。㊦～ぬ いでいい (月が出る)。ちいっちゅと
も言う。②一年の十二分の一。㊦～ぬ かーい (月が変わる)。
- ちいちい tsitsī [動] 付く。着く。①色・よごれ傷などのあとが残る。②着く。届く。
到着する。③(名が)付く。④火が燃え始める。⑤(灯火が)点く。㊦とうーいぬ ～
(ランプが点く)。
- ちいちい tsitsī [動] 突く。搗く。①長い物の先などで強い打撃を与える。㊦ばうひー

- ～（棒で突く）。㊦搗く。穀物を打ち、からを除いたりする。㊦まいゆ ～（米を搗く）。
- ちいちい tsitsi [動] 聞く。音を耳で感じる。㊦むぬいゆ ～（言葉を聞く）。
- 一ちいちい 一tsitsi [接尾] 月。一ヵ月ごとの期間を数える助数詞。ひとつちいちい（一ヵ月） ふうたちいちい（二ヵ月） みちいちい（三ヵ月） ゆちいちい（四ヵ月） いちいちいちい（五ヵ月）のように数える。
- ちいちいかいしー tsitsikaisi [動] 聞き返す。聞こえなかったり聞き落としたりするため再度聞く。㊦ちいちいばっばいんよーん ～（聞き違いがないように聞き返す）。
- ちいちいがなしー tsitsiganasi [名] お月様。
- ちいちいじ tsitsidzi (植) (新) つつじ。五月頃花が咲く。
- ちいちいぬむぬ tsitsinumunu [名] 月のもの。月経。
- ちいちいぬゆー tsitsinuju: [連語] 月の夜。月夜。㊦～や はまぬどう かぎかい（月の夜は砂浜が美しい）。
- ちいちいばっばい tsitsibappai [名] 聞き違い。間違って聞くこと。㊦～や ならん（聞き違いはいけない）。
- ちいちいばっばいいー tsitsibappaii [動] 聞き違う。間違って聞く。㊦ににゆーや ひー～（居眠りして聞き違う）。
- ちいちいまちがい tsitsimatfigai [名] 聞き間違い。聞き誤りのこと。
- ちいちいまちがいいー tsitsimatfigaii [動] 聞き間違う。聞き誤る。
- ちいちいん tsitsig [名] 包み。包むこと。
- ちいちいん tsitsig [動] 包む。包装する。
- ちいっちゆ tsittju [名] 月。月夜。地球の衛星。㊦～ぬ あがい（月が上がる）。
- ちいっていいー tsittii [動] （紐などが）切れる。㊦かびとういぬ なーぬ ～（凧の紐が切れる）。
- ちいっていみー tsittimi: [名] （紐などの）切れ目。切れた部分。㊦～ゆ しらびい（切れ目を調べる）。
- ちいっくん tsikkug [動] (新) 突っ込む。激しい勢いで入って行く。㊦ていきんかい～（敵に突っ込む）。
- ちいとうみ tsitumi [名] 勤め。人の当然しなければいけないこと。㊦ちいとうみゆーばー まさがん あっす（勤めはまじめにやれ）。
- ちいとうみい tsitumii [動] 勤める。人の当然しなければならないことをする。
- ちいとうみにん tsituminig [名] サラリーマン。公務員。官庁などで働く人。
- ちいながい tsinagai [動] つながる。一続きになる。ものがつらなる。㊦しいまとうしいまぬ はしいひー～（島と島が橋でつながる）。
- ちいなじい tsinadzī [動] つなぐ。ものが一続きになるようにする。㊦ぬーまう きー

- んかい ～ (馬を木につなぐ)。
- ちいなひちい tsinaçitsi [名] 綱引。綱を引き勝負を決める遊戯。㊦ちいなひっちゃ
うむっしかん (綱引は面白い)。
- ちいなみ tsinami [名] (新) 津波。地震などの影響で海岸に押し寄せる大波。
- ちいに tsini [名] 常。いつもと変わらないこと。平素。ちいにひぐる (常日頃)。
- ちいにひぐる tsiniçiguru [名] 常日頃。ふだん。いつも。㊦～から かんがいい (常日
頃から考える)。
- ちいばい tsibai [動] 気張る。頑張る。一生懸命する。㊦しいかまう わいていー ～
(仕事をうんと頑張る)。
- ちいぶ tsibu [名] 壺。口が小さく胴がふくらんだ入れ物。㊦～んかい いりい (壺に
入れる)。
- ちいぶ tsibu [名] つぼ。急所。㊦ちいぶー やちゅーゆ あしい (つぼをやいとする)。
- ちいぶ tsibu [名] 粒。小さい球状のもの。ただし、あーちいう (泡粒) ではちいうと
なっている。ひとつちいぶ (一粒) ふうたちいぶ (二粒) みちいぶ (三粒)。
- ーちいぶ ーtsibu [接尾] 坪。面積の単位。一坪は約三・三平方メートル。ひとつ～
(一坪) ふうた～ (二坪) み～ (三坪) ゆ～ (四坪) いちい～ (五坪) るく
～ (六坪) なな～ (七坪) や～ (八坪) くく～ (九坪) とぅ～ (十坪) と数え
る。
- ちいぶみ tsibumi [名] (新) 蕾。花がまだ開かずにあるもの。
- ちいまい tsimai [動] 詰まる。すき間なく物が入る。㊦ぬどうぬ ～ (のどが詰まる)。
- ちいみ tsimi [名] 爪。動物の手足の先にある表皮が変形したもの。㊦～ぬ んびい
(爪が伸びる)。
- ちいみあぎい tsimiagii [動] 積み上げる。積むように高く重ねる。㊦にーゆ ～ (荷物
を積み上げる)。
- ちいみい tsimii [動] 詰める。すき間なく入れる。
- ちいみかさない tsimikasanai [動] 積み重ねる。重なって高くなる。
- ちいみかさにい tsimikasanii [動] 積み重ねる。重なるようにして高くする。㊦ふんぬ
～ (本を積み重ねる)。
- ちいみくん tsimikuŋ [動] 詰め込む。荷物などをたくさん押し入れる。
- ちいみくん tsimikuŋ [動] 積み込む。荷物を積み入れる。㊦にーゆ ふにんかい ～
(荷物を船に積み込む)。
- ちいみに tsimini [名] 積荷。車や船などに乗せて運ぶ荷物。㊦ちいみにーゆ ぬーしい
(積荷をのせる)。
- ちいむ tsimu [名] ①心。気。㊦～ぬ かぎかん (心がきれい)。②肝。肝臓。わーぬ～

(豚の肝)。

ちいむい tsimui [動] (新) 積もる。重なって高くなる。㊦ぐみぬ ~ (ゴミが積もる)。

ちいむいみかん tsimuimikag [形] 心が小さい。気が小さい。㊦ばー ~ (ぼくは心が小さい)。

ちいむがーい tsimugari [名] 肝変わり。心変わり。㊦~ぬ はーさかん (心変わりが多い)。

ちいむがかい tsimugakai [名] 気がかり。気に思うこと。㊦~ひー むぬまい ふーいん (気がかりで食事もできない)。

ちいむかさかさ tsimukasakasa [名] 気がいらいらすること。気がそわそわすること。㊦~ていー あしい (気がいらいらとする)。

ちいむぐりかん tsimugurikag [形] 気の毒である。不憫である。㊦いあぬ やみー ~ (父が病気で気の毒である)。

ちいむさびしいかん tsimusabisikag [形] 肝寂しい。心寂しい。㊦んじゃんかいまいいでいらいだ ~ (どこにも出られず心寂しい)。

ちいむだかかん tsimudakakag [形] 怒りっぽい。

ちいむだるかん tsimudarukag [形] 気が進まなくだるい感じ。

ちいむぶとうぶとう tsimuputuputu [名] 心がそわそわすること。㊦~ひー しゅわ (心がそわそわして心配だ)。

ちいむやん tsimujag [名] 肝病み。思い悩むこと。㊦~な くーむぬ (思い悩むのはつらい)。

ちいむやんかん tsimujanagag [形] 思い悩む状態。心苦しい。㊦しきんー うていー ~ (不合格で心苦しい)。

ちいゆ tsiju [名] 露。夜半や早朝に、物の表面につく水滴。

ちいる tsiru [名] 弦。三味線などに張る糸。さんしんぬ~ (三味線の弦)。びき~ (雄弦) みー~ (雌弦) などがある。

ちいる tsiru [名] (動) 鶴。秋、大陸から渡って来るツル科の鳥。くちばしや首が長い大形の水鳥。ちいるかみ (鶴亀) ㊦~ぬ とうう (鶴が飛ぶ)。

ちいるかみ tsirukami [名] 鶴亀。鶴と亀。長寿でめでたいものと考えられている。㊦~ぬ んまりゃー ひー ながいちい あしい (鶴亀のように長生きする)。

ちいん tsig [名] 着物。衣服。身にまとうもの。㊦~ぬ ちいい (着物を着る)。

ちいん tsig (植) 黍。畑で出来る一年草の植物。赤茶色の実が成る。

ちいん tsig [動] 摘む。指先などでつまんで取る。㊦はなう ~ (花を摘む)。

ちいん tsig [動] 積む。置いてある物の上に重ねて、さらに高くなるようにする。㊦にーゆ はーさ ~ (荷をたくさん積む)。

- ちいんじい tsindzi [動] 紡ぐ。よりをかけて糸にする。㊦いとー ～ (糸を紡ぐ)。
- ちいんだらさ tsindarasa [名] かわいそう。ちいんだらさぬひとう (かわいそうな人)。
- ちいんだらしいかん tsindarasikag [形] かわいそうである。㊦うやー にゃーだ ～ (親がいなくてかわいそうである)。
- ちいんっちい tsinttsi [動] つねる。指先で膚を強くつまんでねじる。㊦かまっちゅ ～ (頬をつねる)。
- ちいんぬふうじい tsinnufudzī [連語] 着物の襟。衣服の襟。㊦ちいんぬふうっじゅちいきい (衣服の襟を付ける)。
- ちいんみー tsimmi: [名] (動) 目の金色の鷹。鷹の一種。たりかしい (目が灰色の鷹) の対。元気のある鷹である。
- ちいんみーだか tsimmi:daka [名] (動) 目の金色の鷹。ちいんみーとも言う。
- ちゃ tʃa [助] ってさ。終助詞。他人から聞いた話として述べるのに用いる。㊦あちゃー あみ～ (明日は雨ってさ)。んなまー すーや たかむぬ～ (今は野菜は高ってさ)。
- ちゃー tʃa: [名] 茶。茶の木の若葉から作った飲み物。㊦～ゆ ぬん (茶を飲む)。
- ちゃー tʃa: [副] いつも。常に。どんな時でも。㊦かぬ とういや ～ なきー うい (あの鳥はいつも鳴いている)。
- ーちゃー ーtʃa: [接尾] 複数を示す。ばんちゃー (われわれ) みちゃー (三人)。
- ちゃーかしい tʃa:kasi [名] 茶かす。茶を入れた後のこったもの。㊦ちゃーかつす っしい (茶かすを捨てる)。
- ちゃーがんじゅー tʃa:gandzu: [名] 常に元気であること。㊦ばんていが いあー ～ (ぼくらのお父さんは常に元気だ)。
- ちゃーじゅーか tʃa:dzu:ka [名] 茶急須。お茶用の急須。
- ちゃーぬんばなし tʃa:numbanasi [名] 茶飲み話。㊦ちゃーぬんばなっさ うむっしどー (茶飲み話は面白いよ)。
- ちゃーみー tʃa:mi: [名] ずっと見続けること。㊦～や ひー みじいらしいむぬが やうかん (ずっと見続けて、珍しいのだろうか)。
- ちゃくしい tʃakusi [名] 嫡子。長男。㊦～ぬどう やーゆばー ちいじい (長男が家は継ぐ)。ちよーなんとも言う。
- ちゃばん tʃabag [名] 湯飲み茶碗。㊦～ひーどう ちゃーゆばー ぬん (茶碗で茶は飲む)。
- ちゃぶん tʃabug [名] 茶盆。茶碗や急須をのせて運んだりするもの。
- ちゃぶんだーう tʃabundau [名] 茶盆道具。お茶を入れるための用具。
- ちゃらちゃら tʃaratʃara (擬声) ちゃらちゃら。金属などが触れて出す音。㊦かにでい

- んぬ ～ ならしい (金貨をちらちら鳴らす)。
- ちらみかしい tʃaramikasī [動] ちらちらさせる。金属のものを触れ合わせて
ちらちら音をさせる。㊤かにでいんぬ ～ (金貨をちらちらさせる)。
- ちゃんていー tʃanti: [副] ちゃんと。きちんと。欠けた部分や残り残した部分が無い様
子。㊤まさがんでいー ～ あっす (正しく、きちんとやりなさい)。
- ちゅーい tʃu:i [名] (新) 注意。気をつけさせたり、心を集中すること。㊤くるまんか
い ～ゆ あっす (車に注意しなさい)。
- ちゅーいにゅーかん tʃu:injukag [形] 強くなるのが遅い。発育が遅い。
- ちゅーいびゃーかん tʃu:ibjakag [形] 強くなるのが早い。発育が早い。
- ちゅーか tʃu:ka [名] 急須。茶を入れるための手のついた小型の器具。チャーじゅーか
とも言う。㊤～ひー チャーゆ いりい (急須でお茶を入れる)。
- ちゅーかん tʃu:kag [形] 強い。外からの力以上に強固である。㊤かでいぬ ～ (風が
強い)。
- ちゅーく tʃu:ku [副] 強く。力、働きを高くする状態。㊤～ かちいん (強く握ぎる)。
- ちゅーじゅく tʃu:dʒuku [副] 強く強く。ひどくひどく。㊤あい あしいなていー ～
あいいー ちいかし (そうするなど強く強く言って聞かせなさい)。
- ちゅーちゅー tʃu:tʃu: (擬声) ちゅうちゅう。ねずみがなく時発する音。㊤ゆむぬぬ
～ なふう (ねずみがちゅうちゅうなく)。
- ちゅーばー tʃu:ba: [名] 強い者。気丈な者。㊤～ぬどう ましい (気丈な者が良い)。
- ちゅーばーかん tʃu:ba:kag [形] 強い者である。気丈な者である。㊤ちゅーばーかいば
なうまい ひらいどう しい (気丈な者であるから何でも出来る)。
- ちゅーふうー tʃu:fu: [名] 中風。脳出血などで運動神経がまひし、体が不随になる病気。
- ちゅーらしい tʃu:rasī [動] 強くする。㊤うんどーや あしいみー ～ (運動させて強
くする)。
- ちゅっふいいさぐ tʃuffiisagu [名] つくり咳。わざとだす咳。㊤～ひー ひとつー う
どうるかしい (つくり咳で人を驚ろかす)。
- ちゅっふいがい tʃuffigai [名] 作りかえ。改造。㊤やーゆ ～ あしい (家を改造す
る)。
- ちゅっふいかた tʃuffikata [名] 作り方。製法。作る方法。㊤くまぬ ～う ならー
しい (独楽の作り方を教える)。
- ちゅっふいぐい tʃuffigui [名] つくり声。㊤～ひー むぬー あい (つくり声で言う)。
- ちゅっふいぐとう tʃuffigutu [名] 作りごと。
- ちゅっふいなうしい tʃuffinausī [動] 作り直す。㊤いんぬ やーゆ ～ (犬の家を作り
直す)。

- ちゅっふいはっちゃきい tʃuffihattʃakii [動] 作りそこねる。作りそこなう。㊦さいご
んなりー ~ (最後の段階で作りそこなう)。
- ちゅっふいはなし tʃuffibanasi [名] 作り話。真実でない話。㊦かいが はなっさ
~ (彼の話は作り話だ)。
- ちゅっふいはらい tʃuffibarai [名] 作り笑い。おかしくもないのにわざと笑うこと。㊦
ちいむんな なきー ~ゆ あしい (心では泣いて作り笑いをする)。
- ちゅっふいむぬ tʃuffimunu [名] 作り物。人造のもの。似せて作ったもの。
- ちゅん tʃuŋ [助] さえ。係助詞。極端な事柄を例示し、他の事柄を言外に出す。㊦なー
ゆ かちい~ ふん (名前を書きさえしない)。
- ちゅんちゅん tʃuntʃuŋ (擬声) ちゅっちゅっ。ひばりの鳴き声。
- ーちようー - tʃo: [接尾] 丁。市街地の区画やものの数を数える時用いる。いっ~ (一
丁) に~ (二丁) さん~ (三丁) よん~ (四丁) ご~ (五丁) のように数える。
- ちよーちん tʃo:ʃiŋ [名] (新) 提灯。ろうそくをともせるようにした照明具。㊦~ぬ
ちいきい (提灯を点ける)。
- ちよーど tʃo:do [副] 丁度、折よく。ぴったり。㊦くぬ かーっさ ~ ひゃくいん
(こと菓子は丁度百円だ)。
- ちよーなん tʃo:nan [名] 長男。ちやくしいとも言う。
- ちよーぶ tʃo:bu [名] 帳簿。会計・事務などの必要事項を記入する帳面。㊦ちよーぶー
ちいきい (帳簿をつける)。
- ちよーへい tʃo:hei [名] (新) 徴兵。兵役の義務を課すこと。
- ちよーみん tʃo:mig [名] 帳面。ノート。ものを書くために使う、紙を綴じたもの。
- ちよろちよろ tʃoro:ʃoro (擬声) ちよろちよろ。水が少し流れる様。㊦みじいぬ ~
ながりい (水がちよろちよろ流れる)。

つ

- つくちいぎー kk'utsʃigi: [名] (植) フクギ。葉が堅く黄色い実が成る。防風林用に植え
る。
- つさ ssa [名] 足。つま先。ひさとも言う。㊦っさう きい (躓く)。
- つさ ssa [名] (植) 草。植物の一類で茎が柔らかい。毎年枯れる。っさばな (草花)
っさぬみー (草むらの中)。㊦~う かい (草を刈る)。
- つさい ssai [名] 目白。上は黄色をおびた緑、腹は灰色で、目のまわりは銀白色の小鳥。
- つさうぎー ssaugi: (植) ハマイヌビワ。
- つさうん ssaun̄ [動] しびれる。体のその部分が普通と違って自由に動かすことが出
来なくなる。㊦ていーぬ ~ (手がしびれる)。

- つさかい ssakai [名] 草刈り。草を刈ること。㊦～や らく (草刈りは楽だ)。つさかりゃ (草刈りをする人)。
- つさがい ssagai [動] ぶら下がる。上が何かに支えられて足が地面にうかない状態である。㊦きーんかい ～ (木にぶら下がる)。
- つさがいどうい ssagaidui [名] (動) こうもり。ネズミに似た羽のある小形の哺乳動物。
- つさかしい ssakasī [動] 押しつぶす。ぺしゃんこにする。上から圧力を加えて平たくなるようにする。㊦んーたう ～ (木の実を押しつぶす)。
- つさかじゃ ssakadza [名] くさい臭い。不快感のする臭い。㊦～ぬ あしい (くさい臭がする)。
- つさかだー ssakada: (地) 白河田。宮古本島東側に位置する水の豊富な所。
- つさかん ssakag [形] 臭い。悪臭がある。いやな匂いがして、鼻をつまみたい感じのする状態。いちい～ (息臭い) さき～ (酒臭い) ひー～ (屁臭い) いう～ (魚臭い)。㊦しーるー ～ (水肥は臭い)。
- つさぎ ssagi [名] 白髪。年をとったりしたために白くなった頭髪。つすさぎとも言う。㊦～ぬ ういい (白髪が生える)。
- つさきい ssakii [動] つぶれる。砕ける。上からの圧力などでもものが平たくなる。㊦はじいひー ンまいー ふうにゆーぬ ～ (足でふまれてミカンがつぶれる)。
- つささ ssasa [名] 臭さ。悪臭。いやな匂い。㊦～ぬどう たいらいん (臭さが堪えられない)。
- つさしい ssasī [動] 知らせる。報告する。通告する。㊦しーとうんかい ～ (生徒に知らせる)。
- つさしいびー ssasībi: [名] 知らせる役目。伝達役。㊦くちよーぬどう しいまぬ ～ (区長が村の伝達役だ)。
- つさとうい ssatui [名] 草取り。雑草を取り去ってきれいにする事。
- つさはい ssahai [名] 白風。梅雨が明けてから吹く南風。㊦～ぬ ふうちい (白風が吹く)。
- つさびー ssabi: [名] 臭い屁。㊦～ゆ ひちい (臭い屁を放る)。
- つさびちい ssabitsī [動] 引きずる。足やすそなどを地面につけたまま動かす。㊦うっす ～ (牛を引きずる)。
- つさまじいちい ssamadzītsī [名] ひざまずき。正座。膝を地面につけた状態で座ること。
- つさまじいちい ssamadzītsī [動] ひざまずく。正座する。膝を地面につけて座る。㊦しんしーが まいん ～ (先生の前で正座する)。
- つさまちい ssamatsī (地) 久松。平良の市街地から南へ約二キロメートル行った所の集

落。久貝と松原の二つの字からなる。

っさら ssara [地] 平良。平良市街地のこと。宮古の政治・経済・文化の中心地。あが
いざとう（下里）、いーざとう（西里）、んきゃどうら（荷川取）などの集落からなる。

っさらしい ssarasī [動] 腐らす。食べ物などがいやな匂いがついたりして食べられない
状態にする。㊦いうー ～（魚を腐らす）。

っさりい ssarii [動] ①腐れる。食べ物などがいやな匂いがついたりして食べられない
状態になる。㊦まいぬ ～（ご飯が腐れる）。②動詞について状態がひどくなる意を表
わす。いばい～（いばりくさる） なちい～（泣きくさる）。

っさりかじゃ ssarikadza [名] 腐れた匂い。㊦～ぬ あしい（腐れた匂がする）。

っさりびー ssaribi: [名] 腐れた屁。臭い屁。～ぬかじゃ（臭い屁の匂い）。

っさりんー ssarij: [名] 腐れ芋。腐れた芋。よわって食べられなくなった芋。㊦～な
ふあーいん（腐れた芋は食べられない）。

っされーしい ssare:sī [感] ごめん下さい。訪問の際のあいさつ語。㊦～ たるまい
みーんなー（ごめん下さい。誰もいませんか）。

っさん ssaj [名] (昆) 虱。他の動物について血を吸う小形の平たい虫。頭髮などに
いる。㊦～ぬ あかっちゅ ゆう（虱が血を吸う）。

っさんたちい ssantatsī [名] 爪先で立つこと。㊦っさんたっちゃ くーむぬ（爪先で立
つのは疲れる）。

っさんたちい ssantatsī [動] 爪先で立つ。㊦まいぬ みーらいんにば ～（前が見えな
いので爪先で立つ）。

っさんふうい ssanfui [名] 知らんふり。知っていても知らないようにすること。㊦～
ゆ あしい（知らんふりをする）。

っさんん ssanŋ [名] 足のしびれ。足がしびれること。㊦～な やっかいどー（足のしび
れは厄介だ）。

っしい ʃʃii [動] 捨てる。不用になったものをある場所に置いたり投げ出したりする。
しいていいとも言う。㊦いらんふう ないたい ちいぬ ～（いらなくなった衣服を
捨てる）。なぎ～（投げ捨てる）。ひすう（拾う）の対。

っしかん ʃʃikaŋ [形] 寒い。気温が低く、不快に感じる状態。㊦ふうゆー ～（冬は寒
い）。あちいかん（暑い）の対。

っしゃなかん ʃʃanakaŋ [形] きたない。不潔である。見るからに不快な感じを与える状
態。㊦みはなぬ ゆぐりー ～（顔が汚れてきたない）。

っす ssu [名] 糞。大便。動物の肛門から出る消化された食物のかす。はなっす（鼻く
そ）。㊦っすー まい（くそを出す）。

っす ssu [名] 白。白いもの。雪や砂糖などの色。～かびー（白い紙） ～いる（白い

- 色) ~がー (白い肌)。㊤ちいんな ~ぬどう じゃうかい (衣服は白がいい)。
- つすい ssui [名] 人追いのこと。㊤~ゆ あしい (人追いをする)。
- つすい ssui [名] 薬。病気や傷を直すために飲んだり塗ったりするもの。㊤~ゆ ぬん (薬を飲む)。みずぐすい (目薬) ぬいぐすい (塗り薬)。ぬんぐすい (飲み薬) のように複合語ではぐすいと言う。
- つすい ssui [名] 拭く。布や紙などでこすって汚れや水分を除く。㊤かびーひー ちい
くいゆ ~ (紙で机を拭く)。
- つすいだい ssuidai [名] 薬代。薬を買うための代金。
- つすいつぶや ssrivvja [名] 薬売り。薬を売り歩く行商人。
- つすいばく ssuibaku [名] 薬箱。薬を入れて保管する用器。
- つすいやー ssuija: [名] 薬屋。薬局。薬を売るところ。
- つすいる ssuiru [名] 白色。雪や砂糖などの色。㊤つすいるー ぬい (白色を塗る)。
- つすがー ssuga: [名] 色白の者。㊤かりゃー ~ (彼は色白だ)。
- つすかじや ssukadza [名] 糞の匂い。㊤~ぬどう ひー うい (糞の匂いがする)。
- つすかびー ssukabi: [名] 白紙。白い紙。㊤~ん じいーゆ かふう (白い紙に字を書く)。
- つすかん ssukag [形] 白い。色的一种。雪や砂糖などの色の状態。㊤さたー ~ (砂糖は白い)。
- つすぎー ssugi: [名] 白毛。白い毛。金髪の色。
- つすぎい ssugii [動] 広げる。たたんだり閉じたりしたものを開く。㊤ふうるしきゅー
~ (風呂敷を広げる)。
- つすぎた ssudzata [名] 白砂糖。白い色の砂糖。つふうぎた (黒砂糖) の対。㊤~う
こーひーんかい いりい (白砂糖をコーヒーに入れる)。
- つすじい ssudzī [名] 白地。白い地色。
- つすじいん ssudzīg [名] 白衣。白い着物。㊤~ぬ ちいい (白い着物を着る)。
- つすちいぶ ssutsību [名] 白壺。白い磁器のこと。
- つすつさかん ssussakag [形] 糞臭い。糞の匂いがする状態。
- つすつさぎ ssussagi [名] 白髪。白くなった頭髪。つさぎとも言う。
- つすなん ssunag [名] 白波。白く光る波。㊤~ぬ ゆしい (白波が寄せる)。
- つすぬーま ssunuma [名] 白馬。毛の白い馬。
- つすぬぬ ssununu [名] 白布。白い布。㊤~ひー ちいんぬ ぬう (白い布で着物を縫う)。
- つすばま ssubama [名] 白浜。砂の白い浜。
- つすひだ ssuçida [名] いしなご。遊びに用いる貝の小石。㊤~ひー あすう (いしな

ごで遊ぶ)。

つすふー ssuΦu: [名] 白い帆。㊦～ゆ あぎい (白い帆を上げる)。

つすまい ssumai [名] 糞を出すこと。

つすましい ssumasī [動] 白くする。汚れを落として白くする。㊦ちいぬ ゆぐりゆー うたひー ～ (着物の汚れを落として白くする)。

つすまたかん ssumatakag [形] 糞がしたい。

つすまみ ssumami [名] 白豆。白い豆。ダイズの一品種で種子が黄白色のもの。

つすまりや ssumarja [名] 糞をよくやる人。

つすみー ssumi: [名] 白目。①目の中の白い部分。②怒って白い目をむき出すこと。③目を怪我して目の白い部分が大きくなること。またその人。っふうみー (黒目) の対。
㊦～ひー ひとつー みーな (白い目で人を見るな)。

つすわー ssuwa: [名] 白豚。毛の白い豚。豚の種類。っふうわー (黒豚) の対。

つすわた ssuwata [名] 白綿。綿のこと。

つすん ssug [動] 白む。白くなる。㊦ぬぬぬ いるぬ はぎー ～ (布の色がはげて白くなる)。

つすんなく ssunnagu [名] 白砂。白い砂。っふうんなく (黒砂。色のついた砂) の対。

つすんむ ssummu [名] 白雲。白い雲。っふうんむ (黒雲) の対。㊦～ぬ いでいい (白雲が出る)。

つた tt'a [名] 舌。脊椎動物の口の中に突出した器官。㊦～ひー なん (舌でなめる)。

つたーちい tt'atsī [名] 二つ。一の次の数。たーちい、ふうたーちいとも言う。

つたちい tt'atsī [動] 叩く。なぐる。つづけて打つ。㊦ひとつー ～ (人をなぐる)。

つたなんみや tt'anammja [名] 舌をたえずなめる癖のある者。

つちゃんちい tt'antsī [動] 突き通す。㊦いうー ～ (魚を突き通す)。

つちゃんふうかん tt'anfukag [形] いやである。面倒である。

つちゅらしい tt'urasī [動] 崩す。壊す。㊦やーゆー ～ (家を崩す)。やーつちゅしい (家を崩すこと)。

つていー tt'i: [名] 煙管。煙草を吸うための道具。㊦～ひー たばくー ふうちい (煙管で煙草を吸う)。

つていーちい tt'i:tsī [名] 一つ。二の前の数。ていーちい、ひていーちいとも言う。

つとうちい tt'utsī (植) 蘇鉄。ソテツ科の常緑裸子植物。赤い実が成る。すていちいと
も言う。

つふあ ffa [名] 子。子供。親から生まれたもの。㊦～う なしい (子を生む)。

つぶあ vva [名] 君。お前。同輩以下の相手を指す二人称代名詞。㊦～が あっす (君がやれ)。

- つふあい ffai [名] たい肥。植物や排泄物をつみ重ねて腐熟させた肥料。
- つふあいい ffai [動] 噛まれる。㊦いんん ～ (犬に噛まれる)。
- つふあーにやーんむね ffa:nja:mmunu [連語] 子供のいない者。子供のいない夫婦。
- つふあがい ffa:gai [名] 暗がり。暗い所。光のあたらない場所。㊦～んな むぬー
みーらいん (暗がりではものは見えない)。
- つふあがらしい ffa:garasi [動] 暗くする。光があたらないようにする。
- つふあかん ffa:kaŋ [形] 暗い。光が少なくて物がよく見えない状態。㊦ゆないや ～ (夜
は暗い)。
- つふあさーい ffa:sai [名] 子守り。子供をあやしたり寝かせたりすること。
- つふあしい ffa:si [動] ①挟む。②釣る。㊦いうー ～ (魚を釣る)。③爪を切る。㊦
ちいみゅー ～ (爪を切る)。
- つふあすだてい ffa:sudati [名] 子育て。子供を成長させること。
- つふあちい ffa:tsi [名] 鋤。田畑を耕やす道具。㊦～ひー かでいい (鋤で耕やす)。
- つふあどう vva:du [名] 君ら。お前たち。二人称の複数形。つふあどうがむぬ (君らの
もの)。
- つふあどうくな ffa:dukuna [名] 暗がり。暗い所。光の少ない所。
- つふあどうら ffa:du:ra [名] (動) すずめ。背中が茶色の小形の野鳥。
- つふあなしい ffa:nanasi [名] 出産。子供を産むこと。㊦～ぬ くーさ (出産はきつい)。
- つふあぬーま ffa:nu:ma [名] 子馬。成人に達しない馬。
- つふあむい ffa:mu:i [名] 子守り。子供のもりをすること。
- つふあむいあーぐ ffa:muia:gu [名] 子守歌。子守りをする時うたう歌。
- つふあーましいかん vva:masikaŋ [形] うらやましい。㊦ひとうー つぶあーまっさ
ひーや ならん (人をうらやましがってはいけない)。
- つふあむちや ffa:mutʃa [名] 子持ち。子供のある母親。
- つふあむりや ffa:mu:rija [名] 子守。子供のもりをする人。普通小学校の女の子がやる。
- つふあゆー ffa:ju: [名] 暗い夜。光が少ない夜。㊦～や うとうるしいむぬ (暗い夜は
こわい)。
- つふあんまが ffa:maga [名] 子孫。子供や孫。
- つふい ffi [名] 蛸の墨。蛸が口から出す黒いもの。たくぬっふいとも言う。
- つふいあいちい vva:itsi [動] 売り歩く。行商する。㊦いうー ～ (魚を売り歩く)。
- つふいあまい vva:imai [名] 売り余り。売り残ったもの。㊦～や いふうちい (売り余
りは幾つだ)。
- つふいあまらしい vva:imarasī [動] 売り余す。売り残す。㊦すーゆ ～ (野菜を売り残
す)。

つぶいはていい vvihatii [動] 売り果てる。売りつくす。㊦あーさー ～ー にゃーん
(海藻は売りつくしてしまった)。

つふいま ffima (地) 来間。下地町の南部の小島。つふいまじいま (来間島) とも言う。

つふう ffu [名] 黒。色の一つ。墨や木炭などの色。㊦そーしきんな ちいんな ～ぬ
どう ましい (葬式には衣服は黒がいい)。

つふういしい ffuisi [名] 黒石。囲碁に使う黒い方の石。っすいしい (白石) の対。

つふうあかちい ffuakatsi [名] 黒い血。出血して時間がたち黒くなった血。あかあか
ちい (赤い血) の対。

つふうがー ffuga: [名] 色黒の者。色の黒い人。つふうがーむぬとも言う。

つふうがーむぬ ffuga:munu [名] 地肌の黒い者。色黒の者。

つふうがに ffugani [名] 黒金。鉄。

つふうからじい ffukaradzī [名] 黒髪。黒い髪。あかからじい (赤毛) の対。㊦っふう
からっじゃ かぎかん (黒髪は美しい)。

つふうかん ffukag [形] 黒い。墨や木炭のような色である。㊦まゆー ～ (眉毛は黒
い)。

つふうぎ ffugi [名] 黒毛。陰毛。脇毛はばったぎーとも言う。

つふうざた ffudzata [名] 黒砂糖。濃い褐色の砂糖。

つふうしい ffusi: [名] 汚れ。きたなくなったもの。㊦～ゆ うとうしい (汚れを落と
す)。

つふうしいば ffusi:ba [名] 黒い唇。寒さのために黒くなっている唇。

つふうぬーま ffunu:ma [名] 黒馬。黒い毛をした馬。あかぬーま (茶色の馬) っす
ぬーま (白色の馬) などと言う。

つふうましい ffumasī [動] 黒くする。㊦ったきー かーゆ ～ (叩いて肌を黒くする)。

つふうまみ ffumami [名] 黒豆。黒い皮のダイズ。正月の煮豆用。

つふうみー ffumi: [名] 黒目。黒い目。目の黒い部分。

つふうん ffug [動] 黒む。黒くなる。㊦きーぬ ないぬ っさりー ～ (木の実が腐れ
て黒くなる)。

つふうんた ffunta [名] 黒土。黒い土。あかんた (赤土) の対。栄養分が豊富で農作物
がよく育つ。

つふうんなぐ ffunnagu [名] 黒砂。黒い砂。色のついた砂。っすんなぐ (白砂) の対。

つふうんむ ffuḡmu [名] 黒雲。黒い雲。雨雲。㊦～ぬ いでいい (黒雲が出る)。